

第64回

感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ

# 全国植樹祭

とっとり 2013

実施計画〔概要版〕



鳥取県

第1章 開催概要	
1 開催方針	1
2 開催理念	2
3 県民運動について	3
美鳥の大使による美しい国づくり運動の概念	4
4 大会テーマ	5
5 シンボルマーク	5
6 大会ポスター原画	5
7 開催日	6
8 主催	6
9 開催規模	6
10 東日本大震災復興支援	6
11 開催地概要	7
第2章 式典行事計画	
1 基本方針	9
2 式典演出計画	10
3 式典進行プログラム	10
4 式典演出イメージ	11
5 式典進行計画	14
第3章 植樹行事計画	
1 基本方針	16
2 お手植え計画	17
3 お手播き計画	18
4 代表者記念植樹計画	19
5 森林づくりの方向性と参加者記念植樹計画	20
6 植樹会場整備計画	22
第4章 会場整備計画	
1 基本方針	24
2 施設配置計画	24
3 主要施設計画	27
4 サイン計画	28
5 飾花計画	28
6 電気・給排水・通信設備計画	28
第5章 運営計画	
1 基本方針	29
2 招待計画	29
3 参加者行動計画	30
4 受付計画	31
5 作品御覧・レセプション計画	31
6 会場内動線計画	32
7 会場おもてなし計画	33
8 昼食計画	34
9 医療・衛生計画	34

10 消防・防災・警備計画	35
11 実施本部計画	36
12 研修・リハーサル計画	37
13 雨天時・強風時対応計画	38
第6章 宿泊・輸送等計画	
1 基本方針	39
2 宿泊計画	40
3 輸送計画	41
4 視察計画	45
第7章 荒天時式典計画	
1 基本方針	46
2 会場	46
3 参加者一覧	46
4 荒天時運営計画	47
第8章 県民運動計画	
1 基本方針	48
2 運動の進め方	48
第9章 記念事業等計画	
1 基本方針	49
2 記念事業等の内容	49
3 関連事業等の内容	50
第10章 広報・協賛計画	
1 広報計画	51
2 協賛計画	52

# 1 開催方針

## (1)はじめに

全国植樹祭(第20回大会までは「植樹行事並びに国土緑化大会」、第21回大会からは現行の「全国植樹祭」が正式名となっている。)は、公益社団法人国土緑化推進機構と開催都道府県の共催により、昭和25年以降、持ち回りで開催されており、これまでこの大会では、天皇皇后両陛下にご臨席を賜り、県内外から多くの参加者にお集まりいただき、式典行事や記念植樹などが行われています。

鳥取県では、昭和40年5月9日、天皇皇后両陛下をお迎えし、第16回全国植樹祭を大山町で開催しました。この大会では、両陛下が、大山町上楨原においてダイセンマツ(アカマツ)をお手植えになるとともに、大山町博労座においては、ダイセンマツ、オキノヤマスギのお手播きをいただきました。また、参加者1万余人により上楨原でダイセンマツ32,000本(8ha)の記念植樹が行われました。

## (2)開催意義

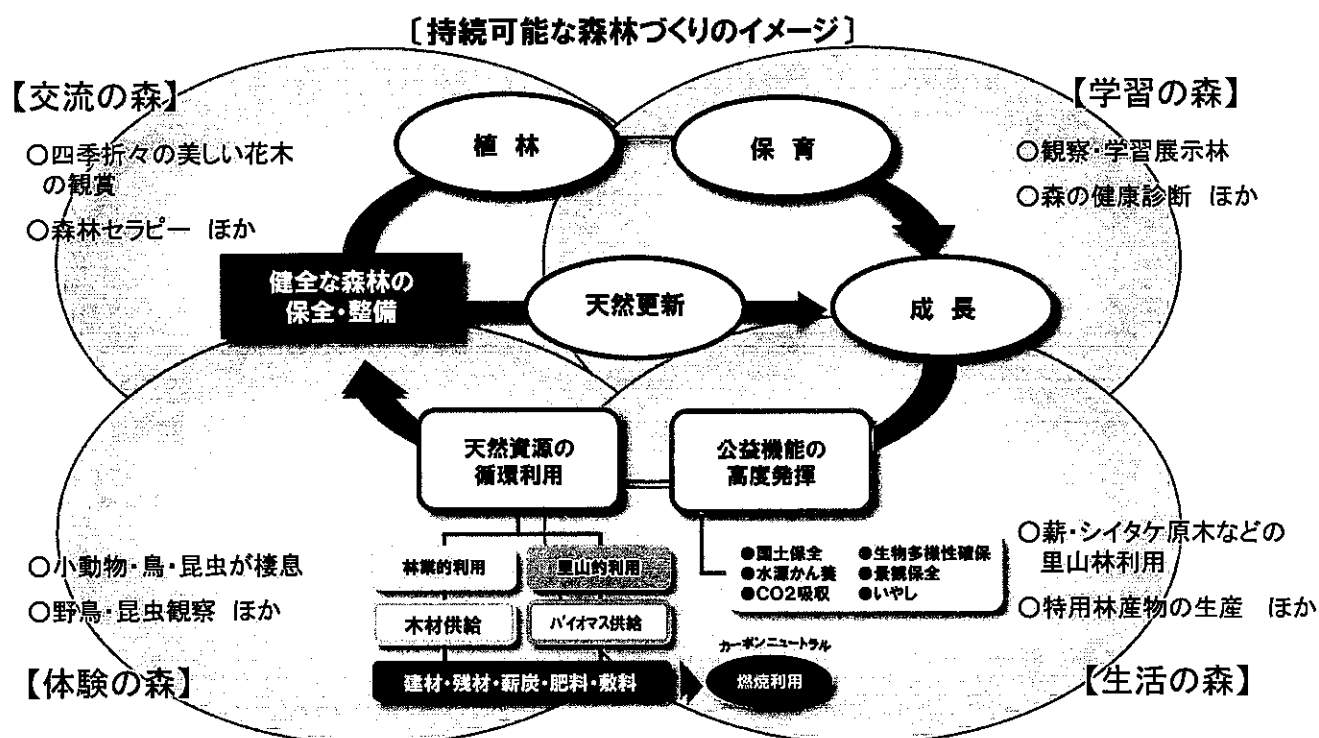
県土の74%を森林が占める鳥取県は、古くから森林に恵まれ、妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡等の古代・木の文化が発祥しました。

鳥取県で開催された第16回全国植樹祭は、「林種転換による拡大造林」をテーマに開催され、各地で植林が行われ豊富な森林資源の造成と林業・木材産業の活性化が図られ木の文化を継承する契機となりました。

しかし近年では、長引く木材価格の低迷、山村の過疎・高齢化の進行等により林業離れが加速し、全国的に手入れの行き届かない人工林が増加しています。また、前回大会でのお手植え樹種であったアカマツ等マツ林は、その後のマツクイムシ被害の急速な拡大により、機能低下を招いています。

その他、シカによる造林木への被害、放置竹林の繁茂、カシノナガクイムシによるナラ枯れなど、新たな被害も拡大し、森林としての機能が急速に失われつつあります。

平成25年の全国植樹祭は、森林の機能を復活させるために、木材資源の循環利用を図りながら、県民全体で推し進める森林づくりのモデル林を整備し、「持続可能な森林づくり」を始める契機として開催します。



## 2 開催理念

京都議定書の発効以降、森林のCO<sub>2</sub>吸収機能への国民的関心は高まっており、県内各地では「とっとり共生の森」や「森林環境保全税」、カーボンオフセットを活用した森林整備を始めとする、企業や県民による森林保全活動の輪が広がっています。

また、平成23年に開催されたCOP17(気候変動枠組条約第17回締約国会議)において、平成25年から森林吸収量の算定手法に、新たに自国産の伐採木材製品に含まれる炭素量が認められることとなり、森林の果たすべき役割が益々重要となってきます。

このような中、平成25年に開催する全国植樹祭では、環境先進県「とっとり」の活動を県内外に発信し、今後更に森と親しみながら共生していく社会の実現を目指します。

### ■平成22年：国際生物多様性年

COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)を名古屋市で開催。生物多様性に関する世界目標(2011～2020年)が採択され、生物多様性損失に対する国民の危惧が今まで以上に高まる。

### ■平成23年：国際森林年

持続可能な森林経営等について認識を高めるよう、国際的な取り組みを実施。

#### 【世界情勢】

#### ■平成25年：京都議定書第二約束期間のスタート

平成24年にカタールで開催されたCOP18(気候変動枠組条約第18回締約国会議)で、約束期間が切れる京都議定書を平成32年末までの8年間延長(第二約束期間)が決定。

平成32年(2020年)に大排出国である中国や米国を含めた新たな枠組みの発効を目指すため、平成26年(2014)に素案を作成し、翌年のCOPで採択する作業に入る。

#### 【日本の動き】

#### ■平成25年：新たな環境戦略のスタート

京都議定書第二約束期間には参加しないものの、新たな枠組みの下でも国際貢献が出来るよう引き続き温室効果ガスの排出削減努力を続ける。

「国際森林年」の平成23年に南アフリカで開催されたCOP17では、森林吸収量の算出手法において間伐や植林のほかに新たに自国産の伐採木材製品に含まれる炭素量が認められることとなり、炭素貯蔵や化石燃料などの代替効果が期待される木材利用の拡大を推進する。

特に、間伐や路網整備の推進、木造公共施設やバイオマス利活用施設の整備、木材利用ポイント制度の普及や山村地域の雇用機会創出などで、地域の基幹産業である林業の活性化を図る。

## 環境先進県「とっとり」をアピール

### □平成25年：第64回全国植樹祭鳥取県開催

持続可能な森林づくりによる地球環境の保全や、里山林等森と親しみながら共生してゆくライフスタイル、就業スタイル等の

**「心癒される森林づくり」を推進します。**

### 3 県民運動について

○第64回全国植樹祭の開催を契機に、県民、企業、ボランティア等の多くの皆さんが環境保全活動に取り組み、自ら行動する県民運動「とっとりグリーンウェイブ」の気運を醸成し、緑豊かな鳥取県から環境の良さを全国にアピールする県民運動として発展させ、県民運動の中心となる人々を「美鳥(みどり)の大使」と位置付けます。

○美鳥の大使による県民運動は、第64回全国植樹祭と同じ平成25年に鳥取県で開催される「第30回全国都市緑化とっとりフェア」「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」へと発展・承継させ、環境日本一の鳥取県を目指します。



＜美鳥の大使が目指すもの＞

地域で取り組む植樹や育林、木づかい運動、環境美化、水産業振興、緑や自然を生活に取り入れたり親しんだりする活動などに取り組む人々が相互につながり合い、県全体にその輪が広がる運動とする。

みどり  
〔美鳥の大使による美しい国づくり運動の概念〕

新たな国造り運動に参加する白うさぎ大使から「引き継ぐDNA」



Dynamic 力強い  
Nature 自然界  
Advance 前進



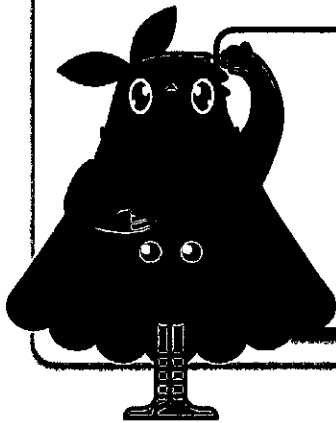
継承

全国植樹祭「とっとりグリーンウェイブ(県民運動)」に参加いただく  
すべての県民が「広めるDNA」



みどり  
美鳥の大使による美しい国づくり運動

波及・拡大



Daily 日常の  
Near 身近な  
Action 行動



継続

全国植樹祭終了後も継続した取り組み(ホスト植樹祭)を行う  
すべての県民が「進化させるDNA」

進化

◆植樹会場の手入れ  
(花回廊・鏡ヶ成高原)  
◆地域植樹会場での  
体験型イベント等

Discover 発見  
Newborn 新生  
Activity 活動

◆第30回全国都市緑化  
とっとりフェア  
◆エコツーリズム  
国際大会2013in鳥取

第64回全国植樹祭開催後も「美鳥の大使」のDNAを広め進化させる  
県民総参加による美しい国づくり(森林づくり)を推進

## 4 大会テーマ

# 「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」

作者: 宇田川 栞(うだがわ しおり)さん (鳥取県立米子南高等学校2年生) ※平成23年度現在

### 【講評】

森のめぐみや緑を守り育ててくれた先人への感謝の気持ちと、緑の豊かさを次代に継承していこうという強いメッセージがこめられています。

## 5 シンボルマーク

### 【シンボルマーク】

※全国公募により選定しました。

#### ○制作意図

鳥取県の鳥と樹木を合わせたデザインで、全体の輪郭は大山の形もイメージさせ、首から上げた眼鏡には森の観察を呼びかけるメッセージが込められています。また、胸のハートマークで大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を表現しています。

#### ○作者

伊藤 うちゅぶ(いとう うちゅぶ)さん ※ペンネーム  
(千葉県八千代市)

### 【シンボルマーク愛称】

※鳥取県内在住の方を対象に募集し、選定しました。

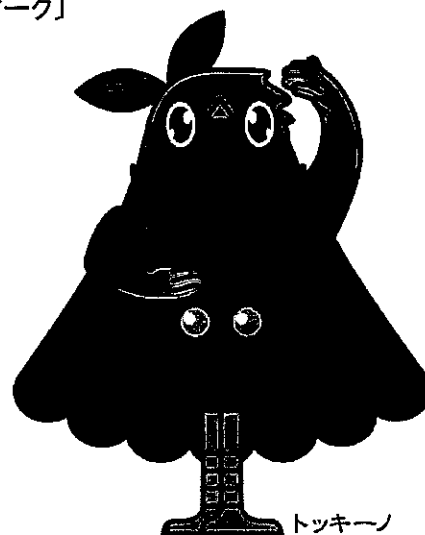
#### ○制作意図

「鳥取」と「木」を組み合わせ、インパクトのある親しみやすい愛称にしました。

#### ○作者

武海 博華(たけうみ ひろか)さん  
(鳥取県西伯郡南部町)

### 【マーク】



### 【愛称】

「トッキーノ」

### 【画題】 自然がいっぱい



## 6 大会ポスター原画

※鳥取県内の小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に募集し、選定しました。

#### ○制作意図

緑や生き物に囲まれて、笑顔で生活できる喜びを表現しました。

#### ○作者

中家 秀斗(なかいえ しゅうと)さん  
(鳥取市立西郷小学校 5年) ※平成23年度現在



## 7 開催日

平成25年5月26日(日曜日)

## 8 主催

公益社団法人国土緑化推進機構、鳥取県

## 9 開催規模

お手植え行事及び式典行事の参加者数は、5,000人程度の県内外招待者と、2,000人程度の県内協力者及びスタッフ等としますが、荒天の場合は、1,000人程度の招待者等とします。

県外の招待者	1,500人	国関係者、被表彰者、他県参加者等
県内の招待者	3,500人	県議会、市町村関係者、緑化関係団体、公募参加者、県実行委員会等
本部員・協力員	2,000人	実施本部員、出演者、運営ボランティア等
総計	7,000人	

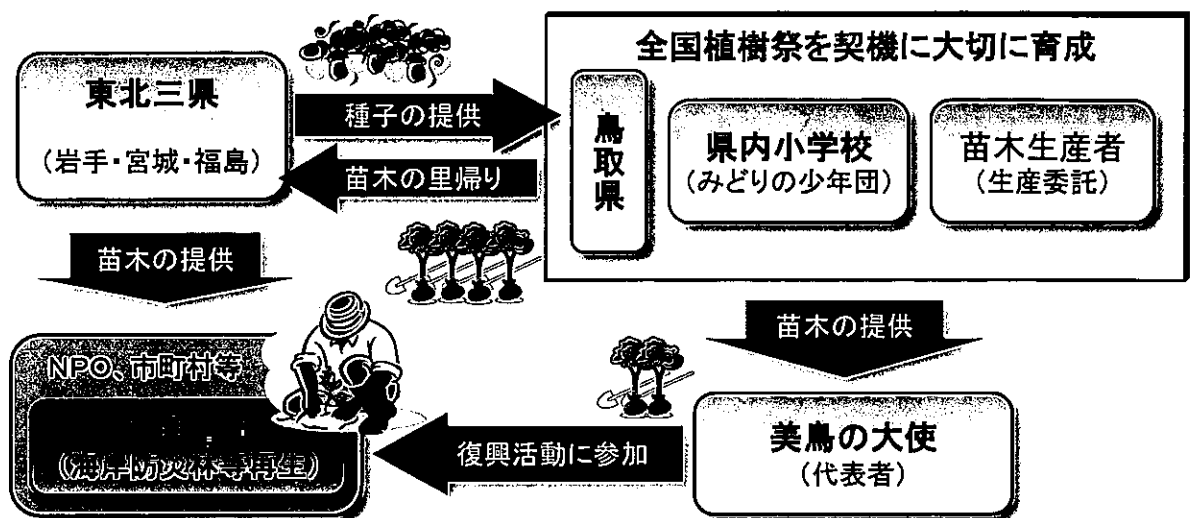
## 10 東日本大震災復興支援

(1)『『みどりのきずな』再生プロジェクト構想』に基づく海岸防災林の再生支援  
(とうほくとっとり・森の里親プロジェクト)

○全国植樹祭において復興支援を盛り込み発信することで、被災地の方への励ましと更なる支援の輪の広がりを図るものとします。

○被災地から採取した種子を本県で育成し、苗木を里帰りさせる活動を全国植樹祭で紹介します。

【取り組みのイメージ】

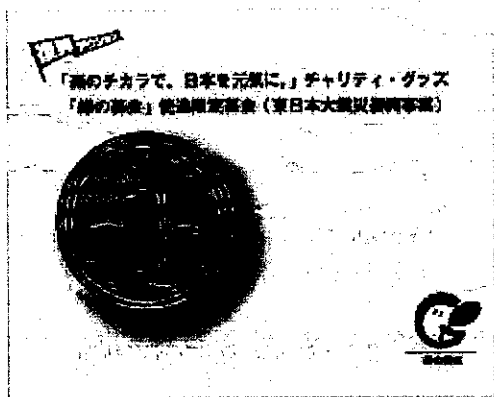


(2) 東日本復興支援使途限定「緑の募金」活動

○公益社団法人国土緑化推進機構が実施している東日本復興支援使途限定「緑の募金」活動を実施し、被災地の「森づくり・木づかい」運動を支援します。

・300円以上の募金で、「緑の募金」ピンバッジを1個進呈します。

・「緑の募金」200円につき、「トッキーノ」ピンバッジを1個進呈します。

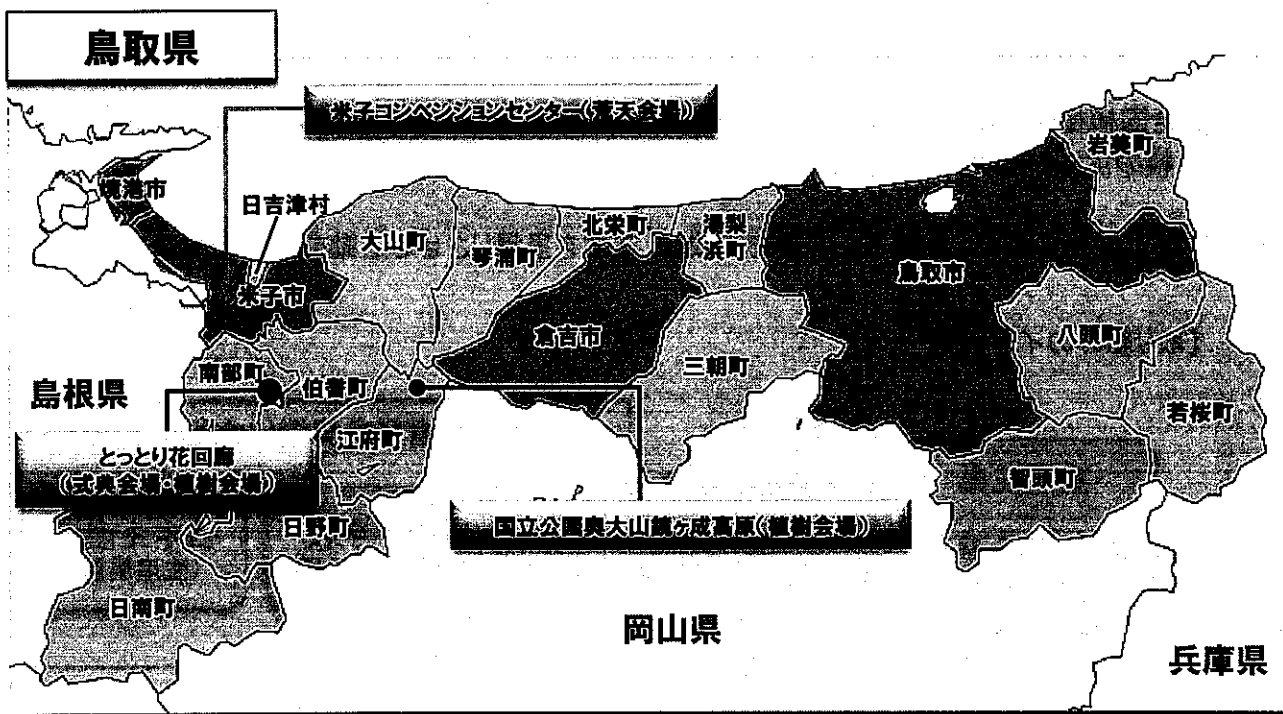


「緑の募金」ピンバッジ



「トッキーノ」ピンバッジ

11 開催地概要

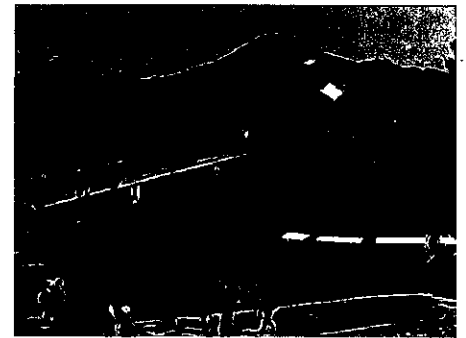
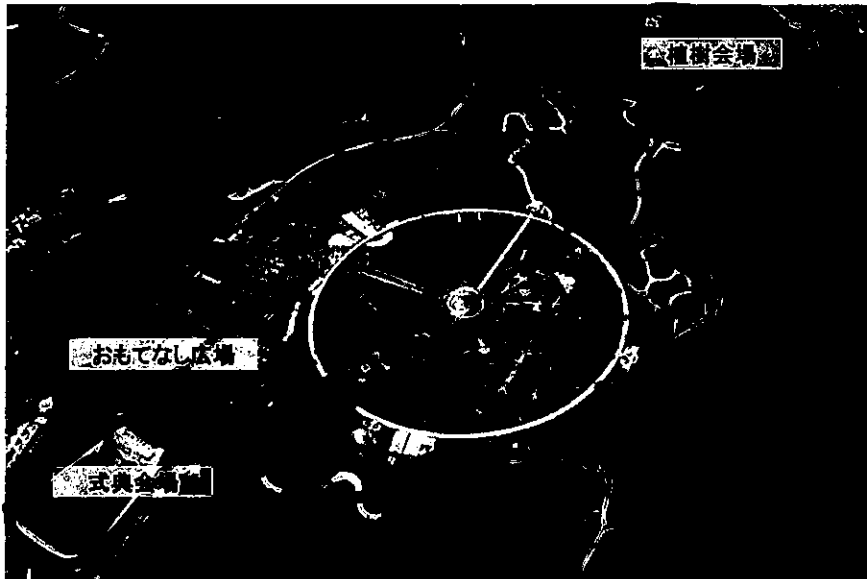


(1) 式典会場・植樹会場

式典会場:とっとり花回廊(南部町鶴田 5,000人が参加)

植樹会場:とっとり花回廊いやしの森(伯耆町小野 式典参加者のうち4,500人が参加)

県立の施設として1999年4月に開園した、大山を間近に望む日本最大級(約60ヘクタール)のフラワーパーク。多彩な植え替え花壇、大温室「フラワードーム」や展示館、周囲1kmの屋根付き展望回廊など、天候に左右されず一年中花が楽しめます。自然の起伏や森林を活かした広大な自然環境の中、季節の移り変わりを存分に味わうことができます。開園時からオランダの世界的な花の名園「キューケンホフ公園」と交流しており、2010年に姉妹公園の覚書を締結しました。



フラワードーム

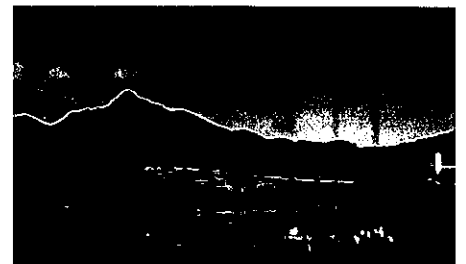


花の谷(キューケンホフコーナー)

(2) 植樹会場

国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森(江府町鏡ヶ成 500人が参加)

烏ヶ山の南麓に広がる大平原で、清流の流れる溪谷とブナをはじめとする森に囲まれた標高900m前後の景観優美な高原です。高原の上方は、国民休暇村やキャンプ場が整備され、冬はスキー、夏は避暑地として人気があり、下方は広大な農地に開拓されているほか、豊かな水を活かしてミネラルウォーターが生産されています。



休暇村 奥大山

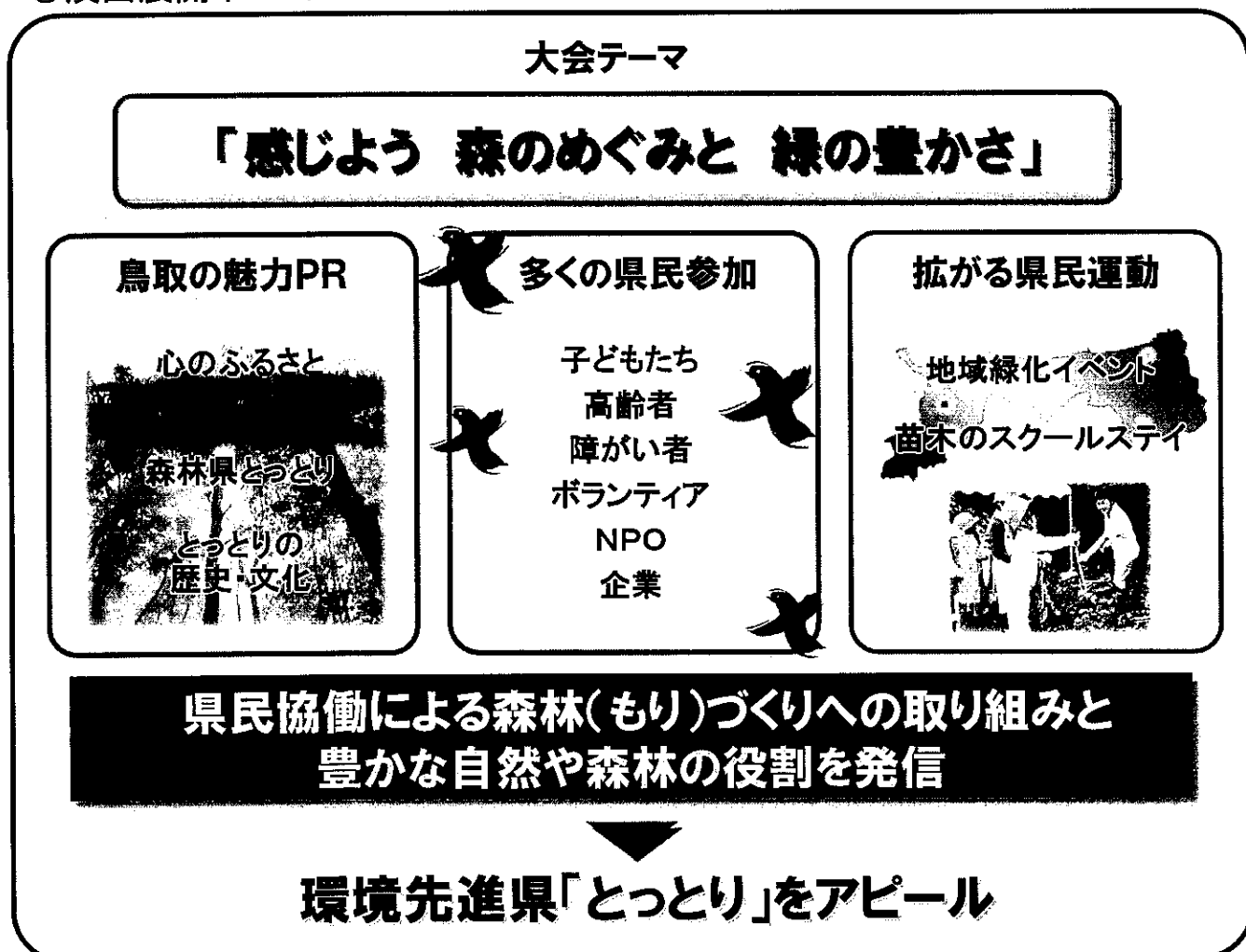


溪谷で水に親しむ子どもたち

## 1 基本方針

- 大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を、参加者や全国の人々に分かりやすく伝え、魅力あるふるさと「とっとり」を支える豊かな自然や森林の役割を発信します。
- 「森は海の恋人」と言われるように、きれいな海を守るためには豊かな森が必要であるという、森・川・海のつながりを表現します。
- 豊かな自然に囲まれた大山の雰囲気を活かして、鳥取の自然の魅力や歴史、文化、産業を全国にアピールし、「また鳥取に行きたい」と感じてもらう構成とします。
- 環境に配慮された手作りの式典とします。
  - ◇「とっとり共生の森」参加企業をはじめとする環境先進企業、NPOなど、多様なボランティアによる協力をいただきます。
  - ◇式典を通じて排出されたCO<sub>2</sub>を、鳥取県内で認証取得したJ-VERで相殺します。  
※J-VERとは：環境省オフセット・クレジット（J-VER）制度により認証された、CO<sub>2</sub>の削減・吸収クレジットのこと。
- 多様なボランティア、子どもたち、高齢者、障がい者など多くの県民や、大会に賛同いただいた企業等が参加できるよう配慮し、県内みどりの少年団等の協力を得ながら、鳥取らしく来場者を温かくおもてなし、歓待します。
- 司会者、式典進行介添え役、式典音楽隊、アトラクション等の出演者及び演出家等については、地元をはじめ、県内関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。

### ◎演出展開イメージ



## 2 式典演出計画

○式典の構成は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	演出の意図
プロローグ	はじまり	○参加者を歓迎する気持ちを表現する内容とし、鳥取の豊かな自然や文化、森林・林業・木材産業の紹介や県民が参加する創作劇等のアトラクションを実施します。
記念式典	はぐくみ	○天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を行います。 ○大会宣言等は開催理念を、わかりやすく表現します。
エピローグ	はばたき	○参加者を送迎しつつ、未来へのメッセージを伝え、全員でその意味を確認し、全国に発信します。

## 3 式典進行プログラム

時間	区分	プログラム	進行内容
10:10	プロローグ	プロローグ案内	鳥取の豊かな自然と、その自然に培われた歴史・文化・産業等を表現
		歓迎演出	
10:50	記念式典	記念式典のご案内	
11:00		天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	
		表彰	森林や自然を育み守ってきた緑化功労者への感謝として表彰
		苗木の贈呈	
		天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き	
		参加者代表記念植樹	
		大会テーマ表現	環境先進県とっとりが目指す森林づくり、「美しい国づくり運動」を発信し、大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を創造的に表現
		東日本大震災復興支援 大会宣言	
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
	閉会のことば		
11:50		天皇皇后両陛下 御退席	
12:00	エピローグ	エピローグ案内	未来へのメッセージを発信し、来場者参加型演出により会場全体を盛り上げ
12:20		エピローグ演出	

## 4 式典演出イメージ

### プロローグ 「はじまり」

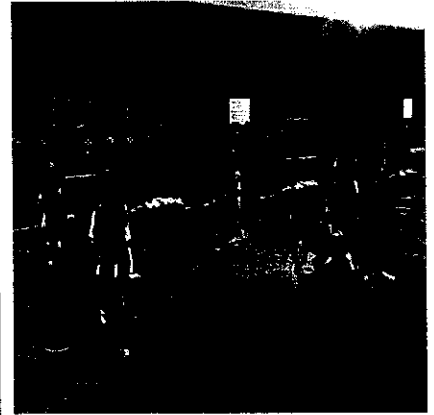
『森・川・海』のつながりをパフォーマンスで表現し、木や森と共生することの大切さを、子どもと木の精との語らいで綴る創作劇で表現します。

#### 「はじまり」のメッセージ

○酸素をイメージした風船をもった子どもたちと葉っぱをイメージしたハンカチをもった子どもたちのパフォーマンスで、酸素・水の供給源としての森林を表現します。

○出演者の衣裳の色で森や川や海を表現し「森は海の恋人」のメッセージを発信します。

○大山の自然の映像とともに、木のオブジェが登場、命の営みを見守り続ける森林・自然を表現します。



### 創作劇「大山森話」

脚本・演出「鳥の劇場」中島諒人芸術監督

○子どもと木の精との語らいを中心に人間と木との共生を表現します。

○葉っぱや風、そこに棲む鳥や蝶でとつとりの森を表現します。



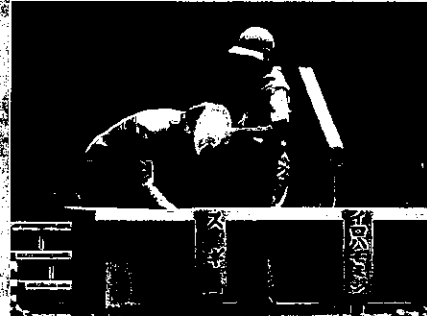
記念式典 「はぐくみ」

第64回全国植樹祭で設定する「4つの森」を背景に、森を大切に育てていくという強い想いを、美鳥の大使がメッセージします。

天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言等を行います。



天皇陛下のお手植え



皇后陛下のお手播き

大会テーマ表現：「はぐくみのメッセージ」

- ◎「森への想い」や林業を取り巻く現状を表現します。
- ◎「交流の森」「学習の森」「体験の森」「生活の森」への想いをパフォーマンスとメッセージで表現します。
- ◎森と人間の共生を呼びかけ、大会テーマを表現します。



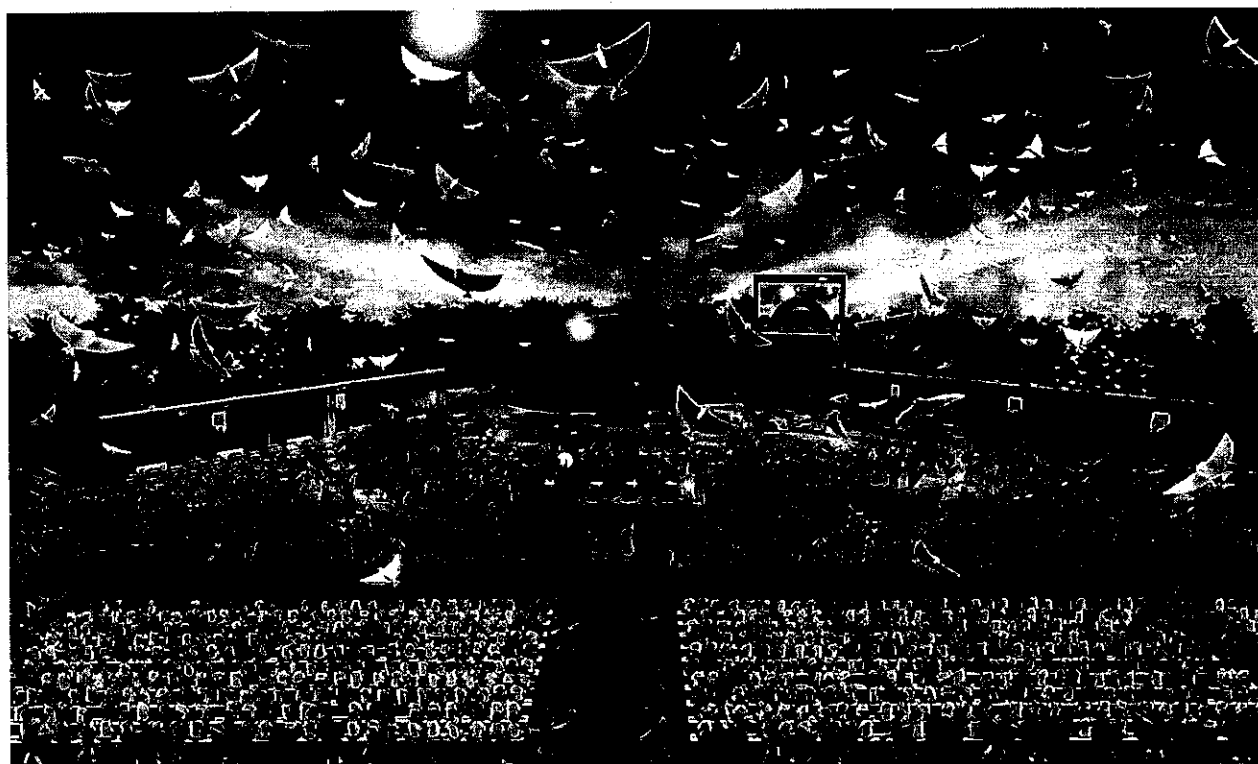
### エピローグ 「はばたき」

全出演者と招待者、会場全体の一体感を創出し、未来に向けてのメッセージとともに大空にむけてグランドフィナーレを飾ります。

#### エピローグ：「はばたき」のメッセージ

○出演者と招待者が全員参加できる音楽と演出で、会場全体の一体感を創出し、未来に向けてグランドフィナーレを飾ります。

○鳥型風船を放天し、鳥取県から全国へ羽ばたく「美鳥の大使」を表現します。  
※鳥型風船は生分解性の素材とします。





## 5 式典進行計画

## (1)進行スケジュール詳細

時間	プログラム	登壇者・出演者	映像	音楽
7:30 ～ 10:00	参加者入場開始			BGM、CD
	おもてなし広場オープン		インフォメーション 文字等	
	プロローグ案内、インフォメーション		インフォメーション 文字等	
<b>◆プロローグ 「はじまり」</b>				
10:10 ～ 10:50	「とっとり」の映像「鳥取の自然・歴史、文化、産業など」県の紹介映像			CD
	「はじまり」のメッセージ			CD
	創作劇「大山森話」			CD(録音)
	大会概要紹介			
	感謝状贈呈 ○大会テーマ ○シンボルマーク ○シンボルマーク愛称 ○大会ポスター原画	贈呈:鳥取県知事 受贈:各被表彰者		吹奏楽、合唱
	記念切手贈呈	贈呈:郵便事業株式会社 受贈:鳥取県知事		吹奏楽、合唱
	記念式典のご案内～(待機)			
<b>◆記念式典 「はぐくみ」</b>				
11:00 ～	天皇皇后両陛下 御到着	御先導:鳥取県知事 お出迎え:大会会長、 国土緑化推進機構理事長		ファンファーレ(吹奏楽:金管) 吹奏楽、合唱
	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長		ファンファーレ(吹奏楽:金管)
	三旗掲揚・国歌斉唱	みどりの少年団 日本ボーイスカウト鳥取連盟 ガールスカウト日本連盟鳥取県連盟		吹奏楽、合唱
	主催者挨拶	大会会長、鳥取県知事		
	表彰(4団体) ○国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール ○緑化功労 ○全日本学校関係緑化コンクール ○鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰	大会会長 農林水産大臣 文部科学大臣 鳥取県知事 受賞者代表		弦楽
	苗木の贈呈	贈呈:みどりの少年団 受贈:農林水産大臣、環境大臣		吹奏楽、合唱
	お手植え・お手播き 参加者代表記念植樹	御先導:国土緑化推進機構 理事長、鳥取県知事 介添え:みどりの少年団、 日本ボーイスカウト鳥取連盟、 ガールスカウト日本連盟鳥取 県連盟		吹奏楽、合唱
	大会テーマ表現 「はぐくみ」のメッセージ			吹奏楽 弦楽
	東日本大震災復興支援	贈呈:鳥取県知事、 みどりの少年団 受贈:被災地代表者		CD

## 第2章 式典行事計画

時間	プログラム	登壇者・出演者	映像	音楽
	大会宣言	国土緑化推進機構理事長		ファンファーレ(吹奏楽:金管)
11:50 ~	リレーセレモニー ○大会シンボルの引き継ぎ ○新潟県知事のあいさつ	鳥取県知事 新潟県知事 介添え:みどりの少年団		CD
	閉会のことば	鳥取県議会議長		ファンファーレ(吹奏楽:金管)
	天皇皇后両陛下 御退席	御先導:鳥取県知事 お見送り:大会会長、 国土緑化推進機構理事長		弦楽
	記念式典終了			
<b>◆エピローグ「はばたき」</b>				
	エピローグ案内			
12:00 ~ 12:20	エピローグ演出 「はばたき」のメッセージ	みどりの少年団、出演者全員		吹奏楽、金管 弦楽、合唱
	おもてなし広場再開		インフォメーション 文字等	

## 1 基本方針

- 式典会場内に、お手植え所、お手播き所、代表者記念植樹地を設けます。
- 参加者(代表者以外)の記念植樹は、とっとり花回廊いやしの森及び国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森の各植樹会場で行います。
- 植樹行事は、鳥取県の気候風土に適した樹種の植栽等、地域特性に応じた森林づくりを目指します。
- 種子の採取から育成、植えつけまでの各行為を植樹ととらえ、森林づくり活動の拡大につなげていくきっかけとなるように、多様なボランティア、子どもたち、高齢者、障がい者などを含む、できるだけ多くの県民や、「とっとり共生の森」参画企業等が参加できるようにします。
- 多くの方が植樹活動に参加できるよう、全国植樹祭開催後に自由植樹の期間を設けます。
- 県内で採取した種子を使って、「苗木のスクールステイ・ホームステイ」により子どもたちや企業・団体等が育てた苗木や、生産者が育成した苗木を使用します。
- 植樹会場は、持続的な県民運動の活動の場として、県民誰もが森林や自然にふれあい、学習、体験などができる森をつくります。

会場	位置	内容		面積	本数等
式典会場	お手植え所	お手植え	天皇皇后両陛下	—	6本
	お手播き所	お手播き			4種
	中央・県外特別招待者席 県内特別招待者席	代表者記念植樹	招待者の代表	—	50本程度 (50人程度)
植樹会場	とっとり花回廊いやしの森	参加者記念植樹		3.4ha	4,500本
	国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森			0.4ha	500本

## 2 お手植え計画

○天皇皇后両陛下のお手植えは、お手植え所で「森」の字をかたどり、それぞれ3本の植樹とします。

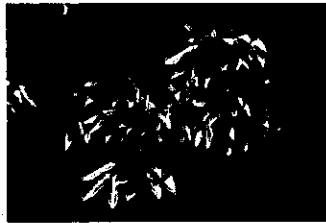
○樹種は、鳥取県の自然条件にあった在来の樹種の内、高木性を中心に県民に親しみのあるものとし、両陛下にそれぞれ3種類の植樹を賜ります。

○お手植えされた記念樹は、森林づくり運動のシンボルとして、大切に管理・育成します。

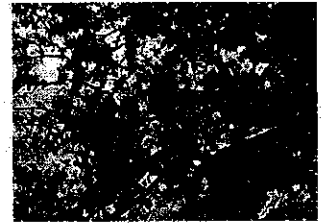
天皇陛下  
お手植え樹種



アカマツ  
(とっとりパワー松)



スタジイ

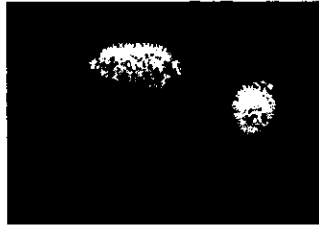


コナラ

皇后陛下  
お手植え樹種



ヤマボウシ



ウワミズザクラ



ホオノキ

### 3 お手播き計画

○天皇皇后両陛下のお手播きは、お手播き所で、お手播き箱へそれぞれ2種類の播種とします。

○お手播きの種子は、鳥取県の自然条件にあった在来の樹種の内、高木性を中心に県民に親しみのあるものとします。

○お手播きされた種子は鳥取県が管理・育成し、県内公共施設等に広く「記念樹」として配布し、植樹いただきます。

天皇陛下  
お手播き樹種

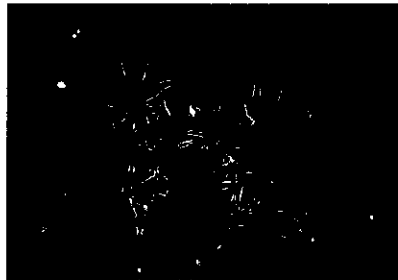


ヤマザクラ



クリ

皇后陛下  
お手播き樹種

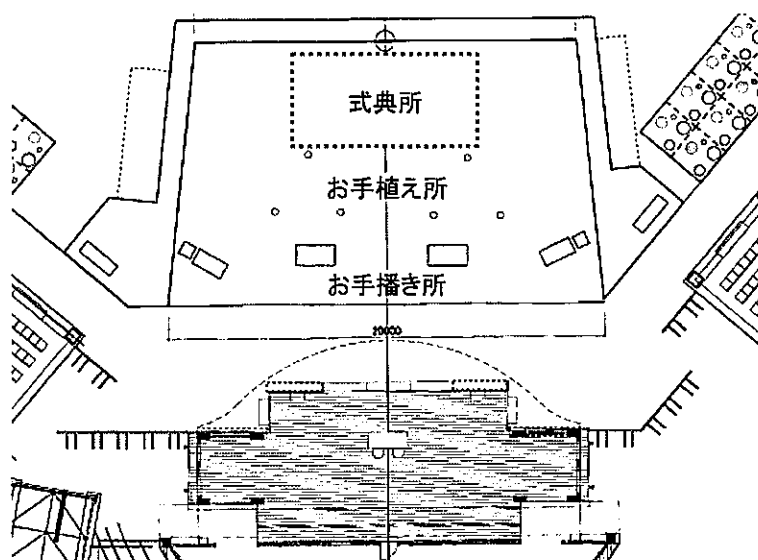


イロハモミジ

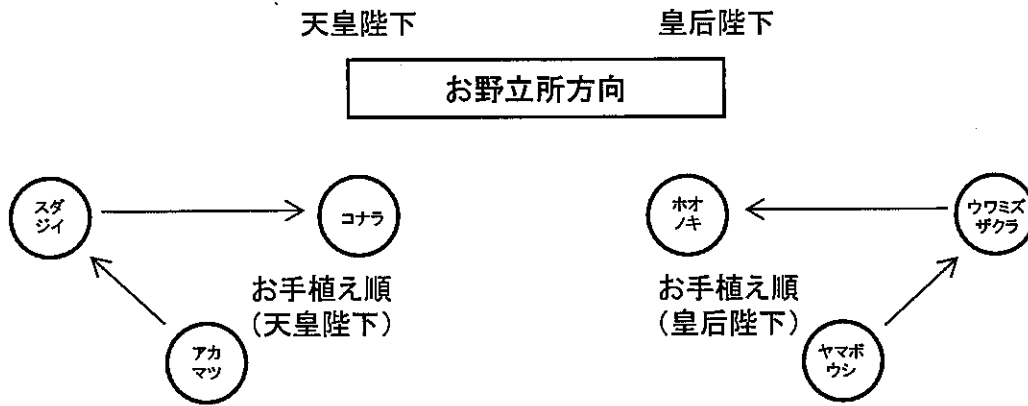


ヤマガキ

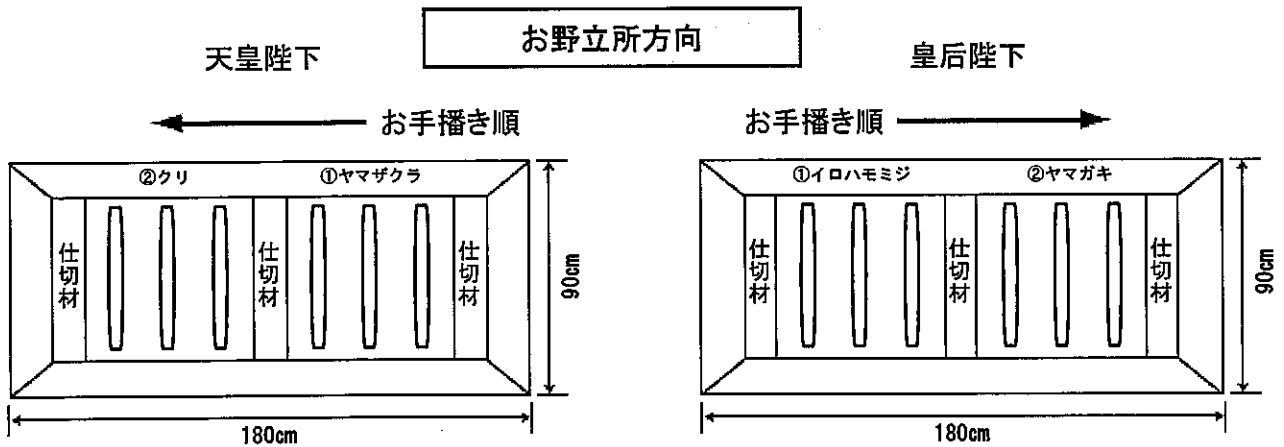
〔お手植え所・お手播き所配置図〕



【お手植え樹種配置】



【お手播き樹種配置】



#### 4 代表者記念植樹計画

- 参加者代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- 場所は、特別招待者席前で行うものとし、それぞれ1本ずつ植樹を行います。
- 植樹は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 参加者の代表は、中央特別招待者、県内外の特別招待者の中から50人程度とします。

## 5 森林づくりの方向性と参加者記念植樹計画

### (1) 森林づくりの将来イメージと植樹計画

- とっとり花回廊いやしの森及び国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森の各植樹会場で、地域特性等に合わせて選定された樹種を、未来の森をイメージしながら一人1本以上植樹いただきます。
- 植樹会場の一区画に、「とっとり共生の森」参画企業の協力で、「とっとり連携の森」の植樹を行います。
- とっとり花回廊いやしの森では、第64回全国植樹祭に参加した子どもたちが、記憶を永くとどめ、学習に役立てもらうよう、展示植栽スペースを用意し、県木や市町村木等特別な樹種の植栽を行います。
- 植樹用苗木は、県内の児童等、県民が育てた苗木も使用し、植樹後は、みどりの少年団、ボランティア等が手入れを行い、その様子を全国発信します。

### 〔とっとり花回廊いやしの森／国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森の将来イメージ〕

#### ●交流の森



- 四季の彩りを感じられる樹木を植栽
- イヌシデ、イロハモミジ、ウワミズザクラ、クロモジ、ホオノキ、マユミ、ムラサキシキブ、ヤブツバキ、ヤマガキ、ヤマザクラ、ヤマボウシ、ヤマモモ

#### ●体験の森



- 果実等が小動物や鳥、昆虫の餌となる樹木を植栽。多様な生き物が生息する森とする。
- アオハダ、アカガシ、アベマキ、アラカシ、エゴノキ、エノキ、コナラ、クリ、シラカシ、スダジイ、ヤマガキ

#### ●学習の森



- 子どもたちがメモリアルとして、県木や市町村木等県内の代表的樹木を植栽。観察・学習展示林とする。
- アカマツ、ヤブツバキ、ヤマガキ、ヤマザクラ、ダイセンキヤラボク、県内市町村の木

#### ●生活の森



- 暮らしの中で、薪炭、シイタケ原木、用材として利用可能な樹木を植栽。下刈や落ち葉かき作業等で下層を整理。
- アカガシ、アラカシ、ケヤキ、コナラ、シラカシ、スダジイ

(2)参加者記念植樹樹種

〔とっとり花回廊いやしの森/参加者記念植樹樹種(25種程度)〕

アオハダ	アカガシ	アカマツ	アベマキ
アラカシ	イヌシデ	イロハモミジ	ウワミズザクラ
エゴノキ	エノキ	クリ	クロモジ
ケヤキ	コナラ	シラカシ	スタジイ
ホオノキ	マユミ	ムラサキシキブ	ヤブツバキ
ヤマガキ	ヤマザクラ	ヤマボウシ	ヤマモモ

※50音順に記載

〔国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森 /参加者記念植樹樹種(20種程度)〕

アオハダ	アズキナシ	イタヤカエデ	ウリハダカエデ
ウワミズザクラ	オオカメノキ	クリ	クロモジ
サワグルミ	タニウツギ	ツノハシバミ	トチノキ
ナナカマド	ブナ	ホオノキ	ミズキ
ミズナラ	ミズメ	ヤマボウシ	

※50音順に記載

(3)参加者記念植樹スケジュール

〇とっとり花回廊いやしの森では、午前・午後に分かれて、国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森では、午前に植樹していただきます。

区分	植樹会場	グループ	植樹概要
特別招待者	県外招待者	午前植樹	バスで宿泊施設から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、徒歩で式典会場の入場ゲートに向かう。
		午後植樹	バスで指定集合地から式典会場へ向かい式典に参加。式典終了後、徒歩にて植樹会場へ移動する。
	県内招待者	午前植樹	バスで宿泊施設または、指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、徒歩で式典会場の入場ゲートに向かう。
		午前植樹	バスで指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場の入場ゲートに向かう。
一般招待者	県外招待者	午前植樹	バスで宿泊施設から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、徒歩で式典会場の入場ゲートに向かう。
		午後植樹	バスで指定集合地から式典会場へ向かい式典に参加。式典終了後、徒歩にて植樹会場へ移動する。
	県内招待者	午前植樹	バスで宿泊施設から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場の入場ゲートに向かう。
		午後植樹	バスで指定集合地から式典会場へ向かい式典に参加。式典終了後、徒歩にて植樹会場へ移動する。
		午前植樹	バスで指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場の入場ゲートに向かう。



## 6 植樹会場整備計画

### (1)とっとり花回廊いやしの森

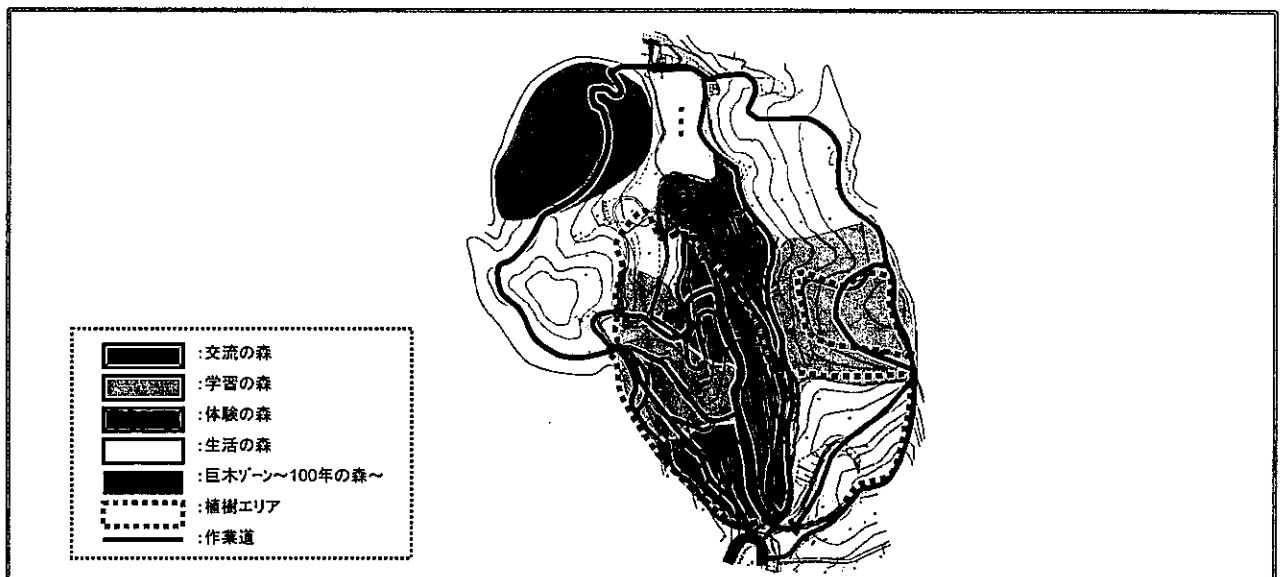
#### 【現状】

里山利用(木立や枝葉・下草を、家庭用燃料や肥料として採取利用)が行われなくなったため、草木が乱雑にしげった「やぶ」状態になっています。

#### 【整備計画】

- 現地の植生を踏まえ、いやしの森全体を将来イメージの4つのゾーンに区分します。
- 会場は、薪、木炭、シイタケ原木となる木立や枝の採取、堆肥となる落葉や下草の採取、野生キノコやクリ等の果実の採取、四季折々の美しい花木の観賞、野鳥の観察、カブトムシやクワガタ等昆虫の観察等の場として利用可能であり、これら「里山のめぐみ」の体験フィールドとしての森林づくりを進めます。
- やぶを整理し、植栽が必要となった区域を植樹会場に設定し、多様性を保ちながら各ゾーンにふさわしい植栽樹木を選定します。
- 巨木に囲まれ多様性の高い区域は、現状のまま自然林として生かします。
- 植樹祭時は参加者の動線を確保し、開催後は体験活動のサポートを図るため、地形に沿った環境に優しい鳥取式作業道による軽車道と間伐材チップをマルチングに活用した歩道を整備します。

#### 【将来イメージ】



## (2) 国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森

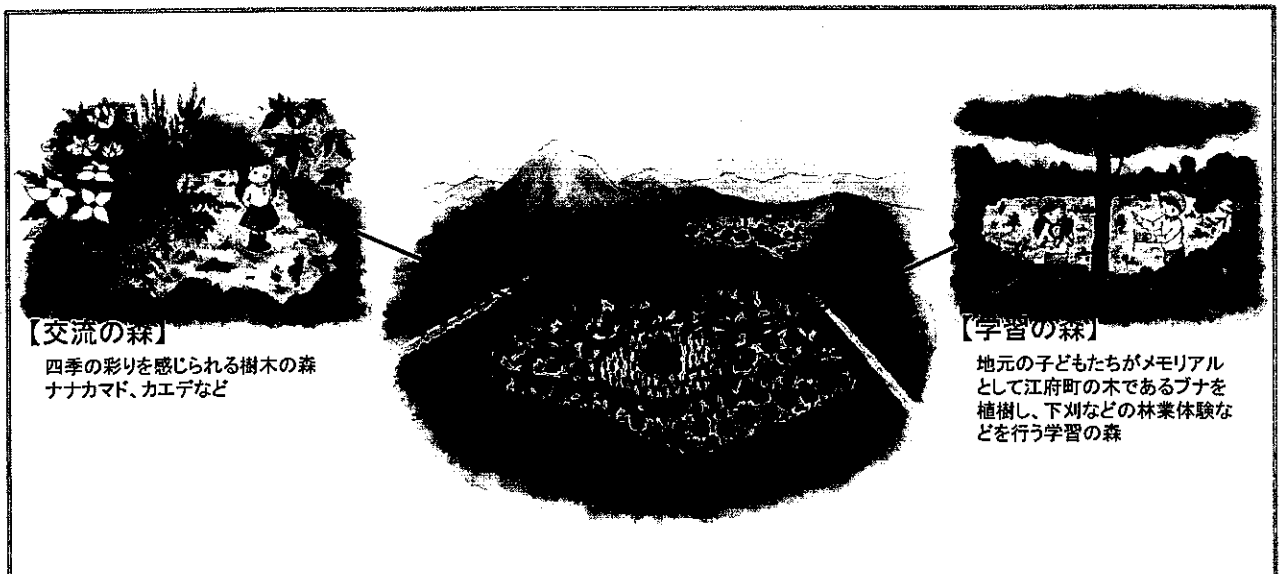
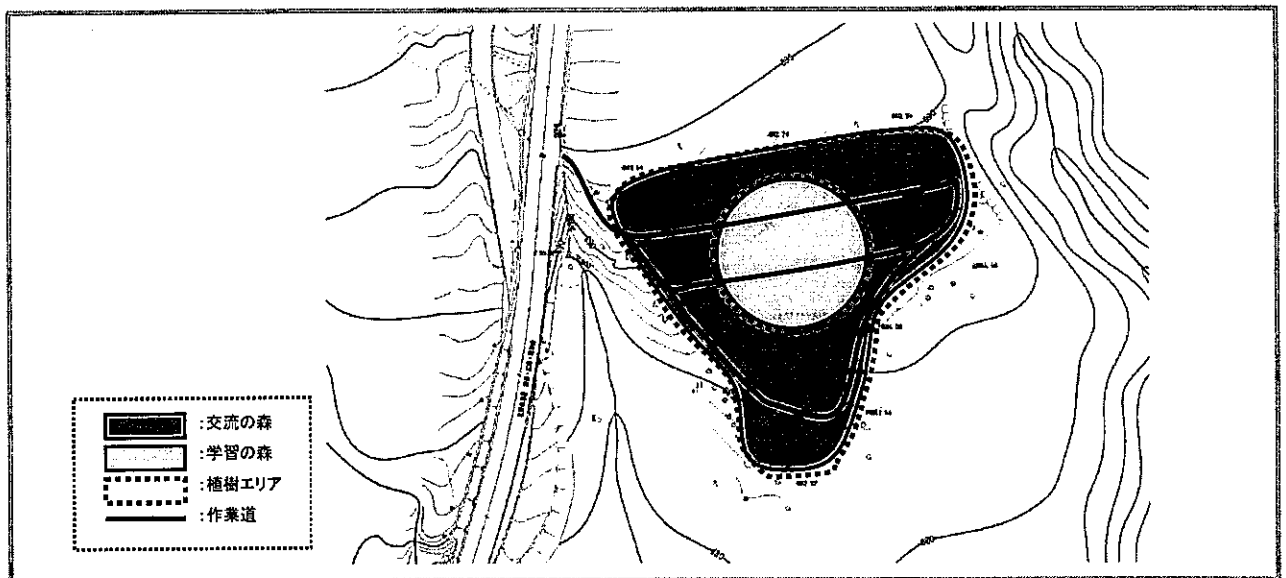
### 【現状】

戦後の開墾地が放置され、一面のススキ野原となり、現状のままでは幼樹の侵入が困難なため森林への復旧が困難な原野となっています。

### 【整備計画】

- 現地周辺の植生に配慮しつつ、ススキに覆われた原野を森林へ早急に戻す森林づくりを考えます。
- 地元で始まっているブナの森づくり活動を展開する場として位置づけ、森林を2つのゾーンに区分します。
- 区画全体の刈り払いを行い、ゾーンの区分けも兼ねた作業道及び歩道を整備し、中央に地元小・中学校の森林体験活動を行うゾーンを設置。これと外周の森林をつなぐ区域を植樹会場に位置づけます。
- 植栽木の植樹木は、現地適性の高いナラ類とし、ミズナラ、ブナ、ホオノキ、トチノキ、ミズキ、カエデ類等を混植します。
- 中央のゾーンは、子どもたちが種から育てたブナの苗木を毎年継続的に植栽し、下刈など森林活動体験を行います。

### 【将来イメージ】



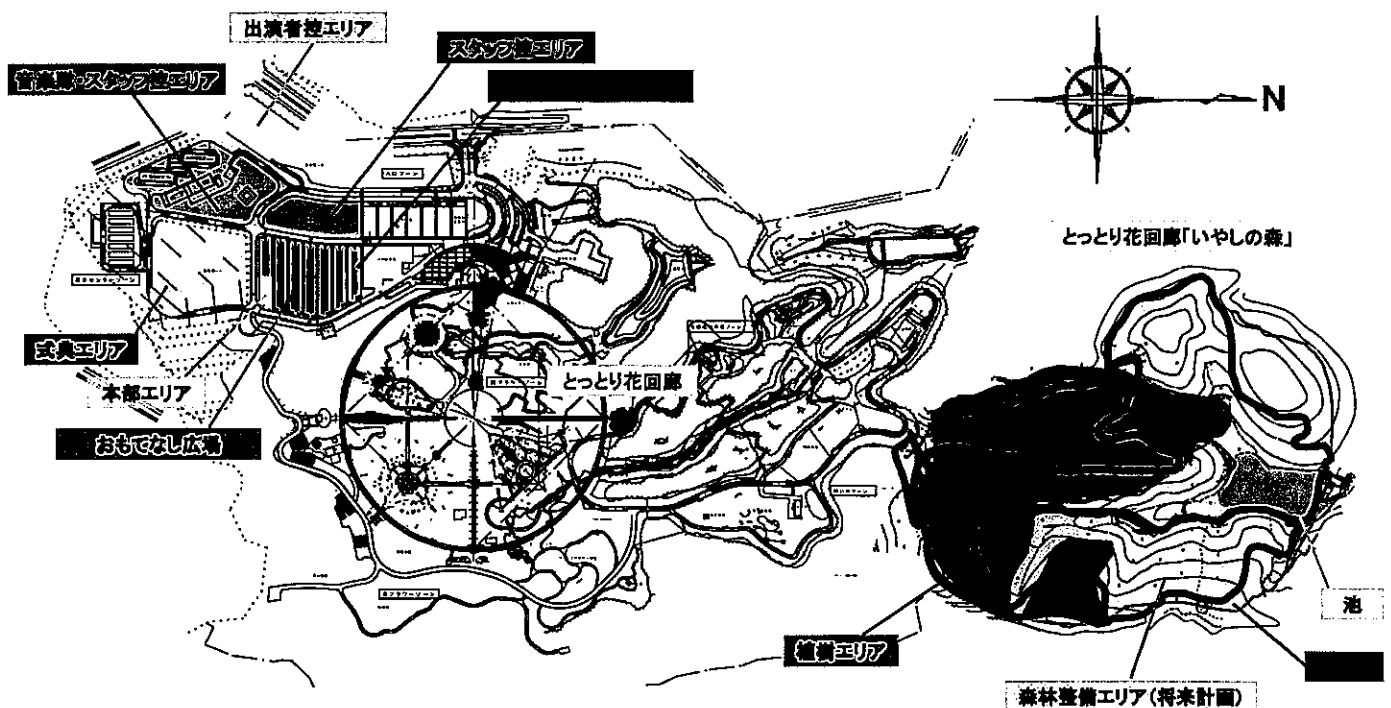
## 1 基本方針

- 第64回全国植樹祭の開催理念や健全な生態系の維持などを様々な視点から検討し、樹木の伐採、土地の掘削・造成など、自然環境に負担をかけないように、今の地形を有効に活用し、経費の節減を図りながら整備します。
- 出来るだけ跡地利用も考慮に入れた整備を検討します。
- 全参加者が、安全で使い易い快適なデザインとします。
- 仮設物等の整備は、県産材をふんだんに使用し、木の香る会場づくりとします。

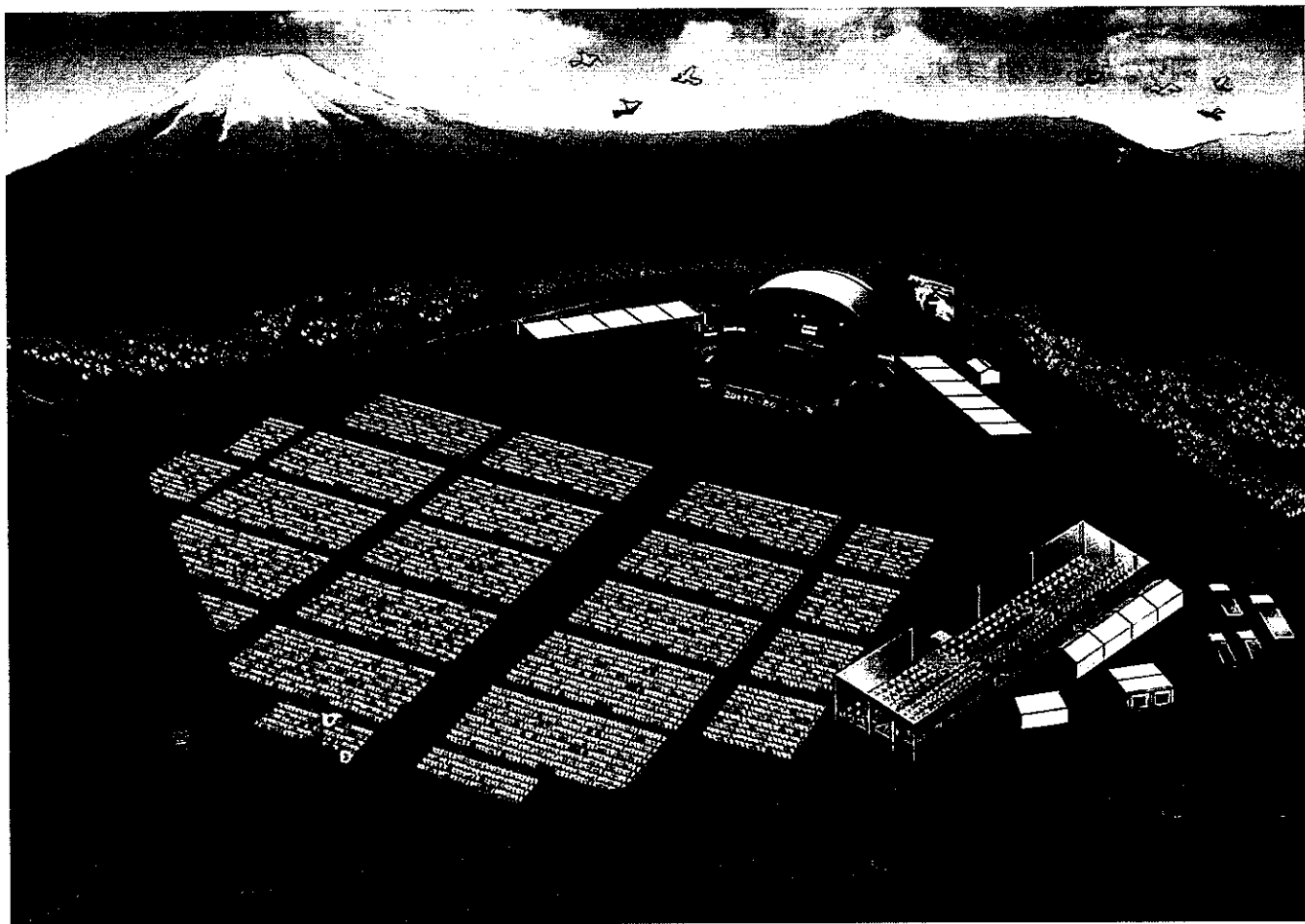


## 2 施設配置計画

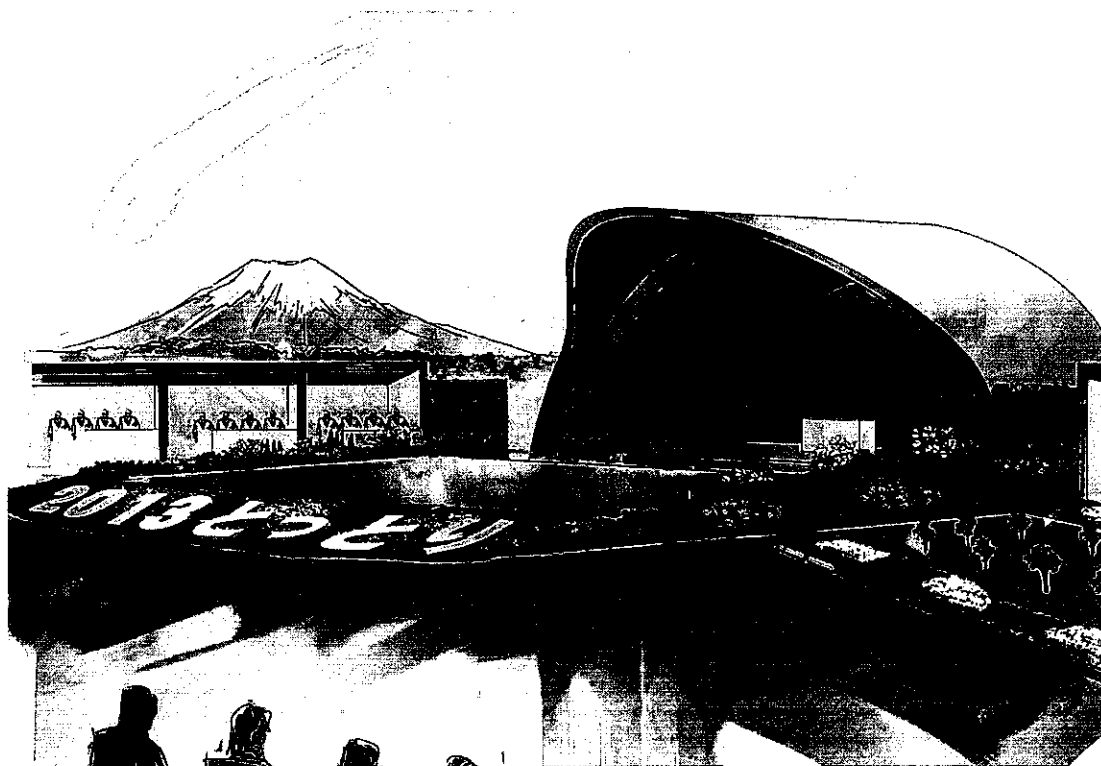
### (1) 会場周辺状況



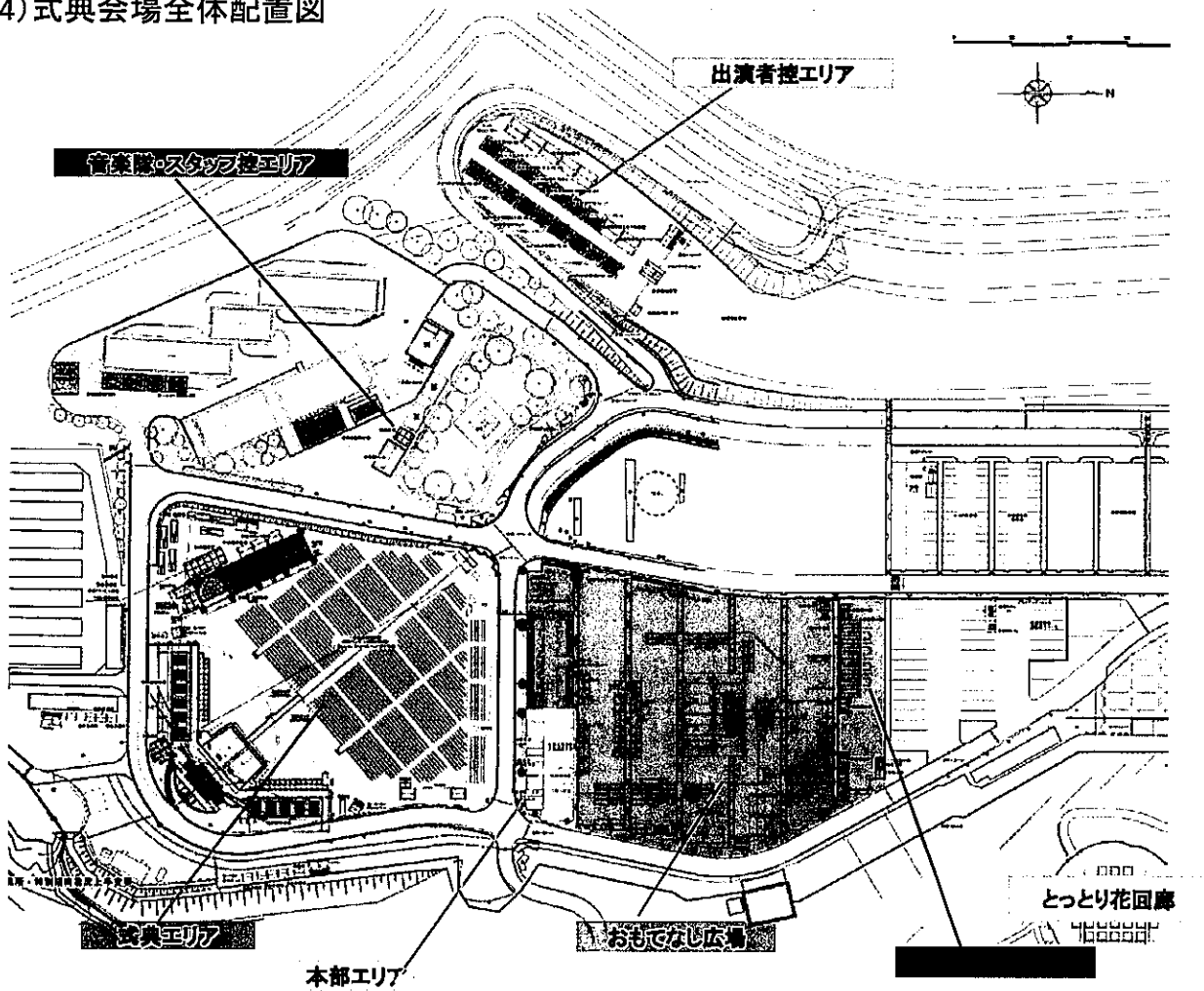
(2) 式典会場イメージ図



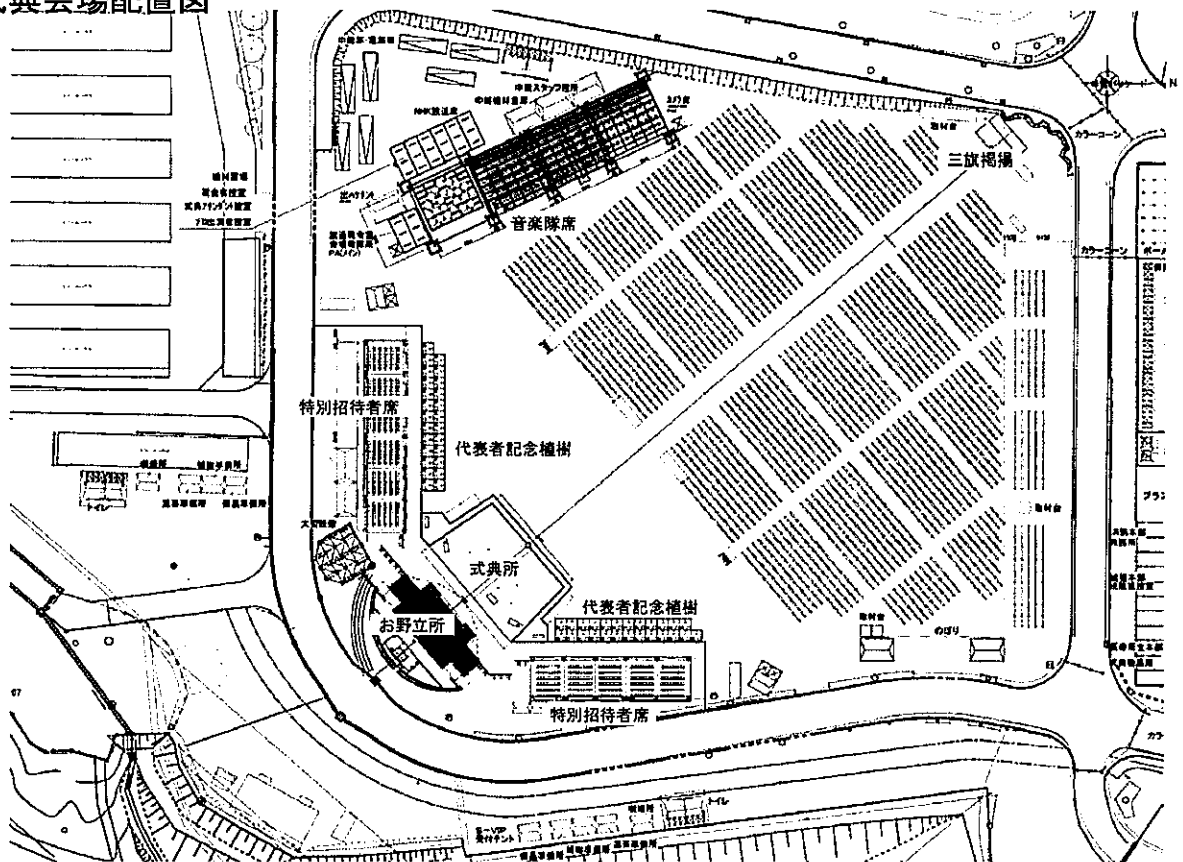
(3) 飾花イメージ図



(4) 式典会場全体配置図



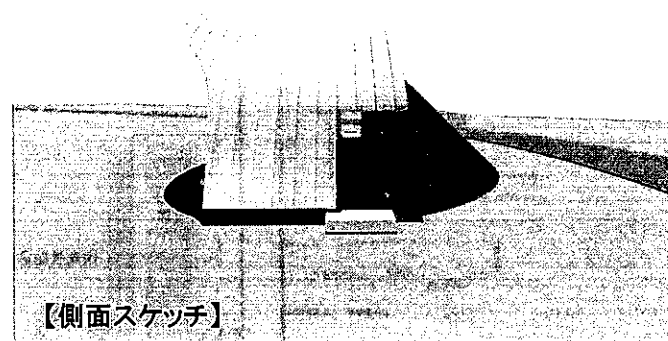
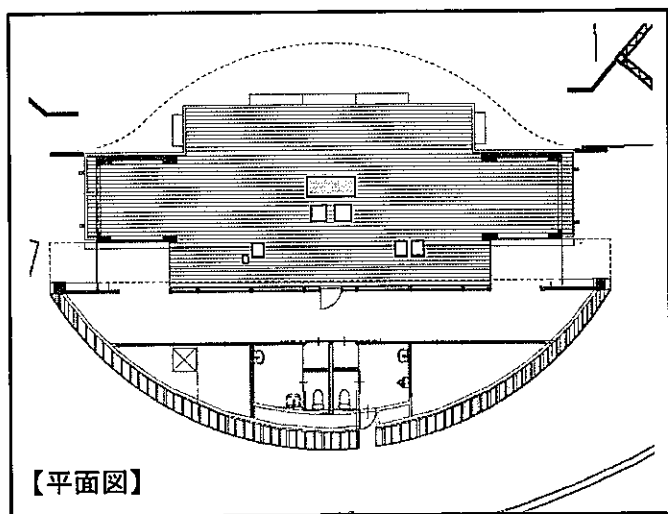
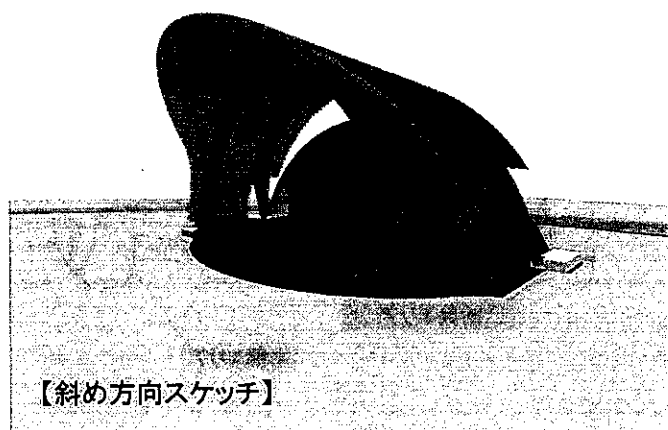
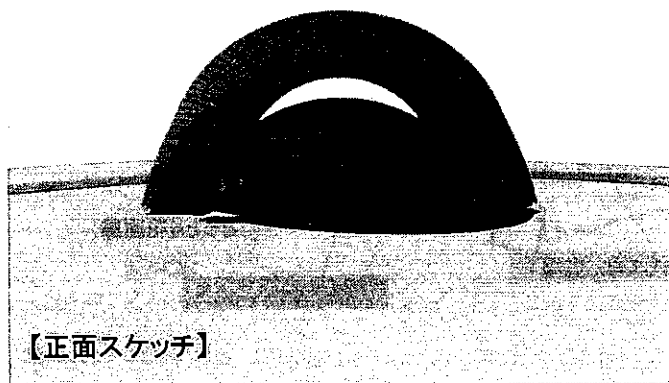
(5) 式典会場配置図



### 3 主要施設計画

#### (1) お野立所

- 天皇皇后両陛下の御歩道はウッドチップにて仮舗装します。
- 大空への飛翔をイメージした木製アーチ型架構を取り入れ、十分な強度を確保するとともに、花回廊の既存施設と一体感を持たせます。
- 県産材の特性を生かした構造・配置とし、登降しやすい床高や採光に配慮したデザインで木造建築のすばらしさをアピールします。
- 全国植樹祭開催後は、メモリアル施設として県民に親しんでいただくため、永久構造物としての強度と、屋外ステージとしての機能を持つ構造とします。



## 4 サイン計画

○参加者が安全かつスムーズに植樹行事、式典に参加することができ、移動に支障がないように分かりやすい案内サインを設置します。

○サイン・展示には、県産材を活用するなど、環境に配慮した資材を使用します。

○「鳥取の歴史・カラー」を表現したテーマカラーで統一したデザインを施します。

- ・鳥取らしさのデザインキーワード：弥生／鳥／花々／木の文化
- ・弥生時代の人々が愛した色、弥生時代の身近な風景の色をテーマカラーと設定します。

①藍色



②茜色



③緑色



## 5 飾花計画

○会場周辺の飾花は、県内高校生が育成した花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、参加者の安全かつ円滑な動線が確保できるように配置します。

○お野立所まわりは、とっとり花回廊のメインフラワーである「ユリ」と鳥取県の花「二十世紀梨の花」を中心に初夏を彩る草花でいっぱい彩ります。

○お手植え会場及び式典会場内に設置するプランターに関しては、間伐材などの県産木材を使用します。

○鳥取県をはじめ、関係市町村、関係団体、県民が一体となり、花飾りや美化に努めます。

○プランターへの植え込みは、単一種で飾花します。

## 6 電気・給排水・通信設備計画

### (1) 電気設備計画

○会場内で使用する電源は、仮設電源(ジェネレーター等)で対応します。

### (2) 給排水計画

○水は施設内より給水し、排水は回収後、適正に処理をします。

### (3) 通信設備計画

○運営を円滑にするため、実施本部等に臨時電話(有線)等を設置するほか、携帯電話、トランシーバー等の無線通信機器を適正に配置します。

## 1 基本方針

- 第64回全国植樹祭への参加者を「おもてなしの心でお出迎え」し、開催意義や理念を伝える機会とします。
- 全国植樹祭の運営には、市町村、林業関係団体、NPO法人及び各種ボランティア団体などの協力が必要不可欠であることから、実施については各団体の意向を踏まえ、しっかりと連携します。
- 「おもてなしの心でのお出迎え」は、観光関係者等と協力します。
- 参加者が安全・快適・清潔に過ごせるよう会場運営を行います。

## 2 招待計画

- 招待者は「県外招待者」と「県内招待者」に区分します。
- 「県外招待者」は、公益社団法人国土緑化推進機構理事長と鳥取県知事との協議によって定める者及び各都道府県知事の推薦による者とし、公益社団法人国土緑化推進機構会長と知事の連名で招待します。
- 「県内招待者」は、実行委員会会長の推薦による者、県内各市町村長の推薦による者、県民公募により選定する者とし、知事が招待します。

区 分		人数	備 考
	中央特別招待者①	30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、林野庁長官、鳥取県知事、県議会議員、次期開催県知事、開催町長、公益社団法人国土緑化推進機構理事長等
特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議員等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員等
	小 計②	420人	
一般招待者	県外一般招待者	1,250人	各都道府県森林・林業関係者等
	県内一般招待者	3,300人	県内の森林・林業関係者、みどりの少年団の代表及び県内公募による一般県民等
	小 計③	4,550人	
招待者小計(①+②+③)		5,000人	
本部員・協力員④		2,000人	実施本部員、出演者、運営ボランティア等
合計(①+②+③+④)		7,000人	





## 4 受付計画

### (1) 全国植樹祭招待者受付

- 前日に宿泊する招待者は、宿泊施設到着時と当日バス乗車時に受付及びチェックを行います。
- 宿泊しない招待者は、当日バス乗車時に受付を行います。
- 式典会場入場時、入場チェックを行います。

### (2) レセプション受付

- 前日に開催されるレセプションの受付は会場入り口で行い、入場時、入場チェックを行います。

区分	受付場所	受付時間	受付内容
中央特別招待者 特別招待者	会場入口	会場入場前	名簿の確認、会場案内

### (3) 招待者に配布する記念品等

- 全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、鳥取県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に発信するため、記念品等を配布します。

## 5 作品御覧・レセプション計画

### (1) 作品御覧

- 緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第64回全国植樹祭ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

- 〔主催〕 公益社団法人国土緑化推進機構、鳥取県
- 〔開催日時〕 平成25年5月25日(土曜日)
- 〔会場〕 両陛下の宿泊施設内
- 〔招待者〕 緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者(6名)  
第64回全国植樹祭ポスター原画作者(1名)

### (2) レセプション

- 天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第64回全国植樹祭の開催県として、招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

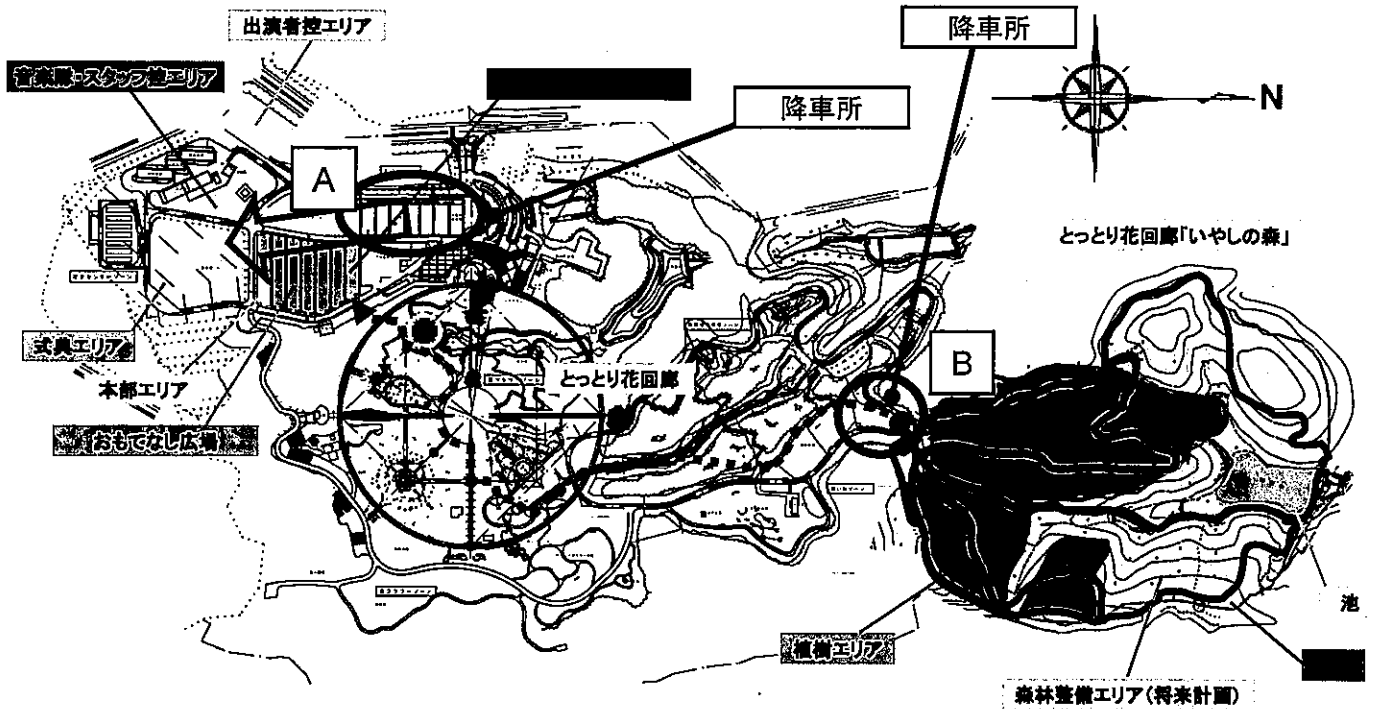
- 〔主催〕 鳥取県
- 〔開催日時〕 平成25年5月25日(土曜日)
- 〔会場〕 両陛下の宿泊施設内
- 〔出席者〕 350名程度
  - ・中央特別招待者(国務大臣、新潟県知事及び県議会議長、公益社団法人国土緑化推進機構会長等)
  - ・県外特別招待者(緑化功労者、県選出国會議員、中央団体の長、中央省庁関係者等)
  - ・県内特別招待者(緑化功労者、県議会議員、市町村長、実行委員会委員等)

## 7 会場内動線計画

### (1) 午前

A(午後植樹): 降車所から式典会場へ

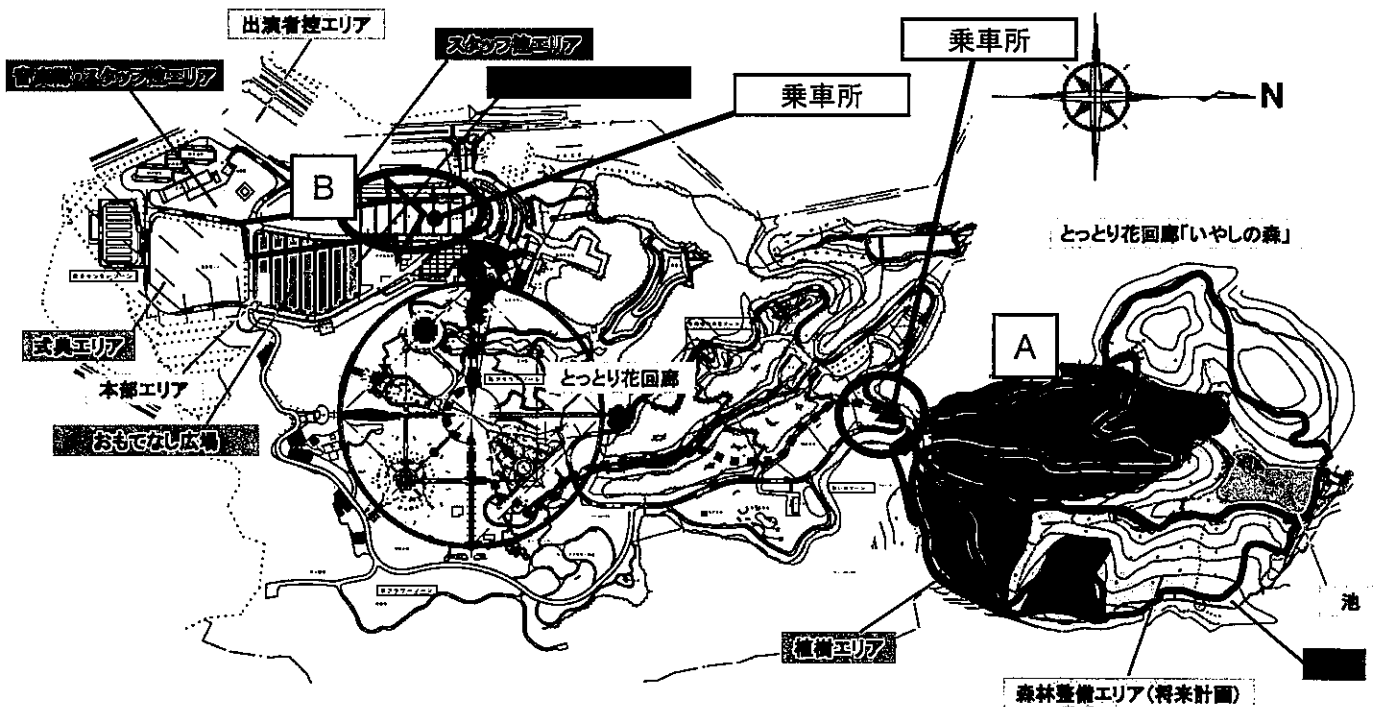
B(午前植樹): 降車所から植樹会場へ、植樹後式典会場へ



### (2) 午後

A(午後植樹): 式典会場から植樹会場へ、植樹後乗車所へ

B(午前植樹): 式典会場から乗車所へ



※植樹(花回廊)会場と式典会場の徒歩移動について、車イスでの参加の方については、別途移動方法について配慮する予定です。

## 7 会場おもてなし計画

### (1) 会場内のおもてなし

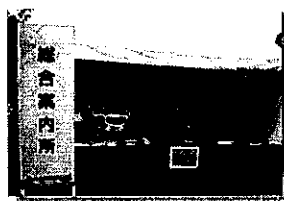
- 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が安心・安全・快適に利用できるよう、総合案内所や、湯茶接待所、救護所、仮設トイレなどを整備します。
- 鳥取県の森林づくり活動や観光、県産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内所、物産販売の専用ブースなどを関係団体の協力により運営します。
- 体験型のイベントを開催し、鳥取県の人々と県外からの来場者とのふれあいを創出します。
- おもてなしステージでは、鳥取県を代表する歌や踊りの賑やかな演目を実施します。
- 湯茶接待コーナーを「お招き茶屋」とネーミングし、鳥取のお菓子とお茶でおもてなしします。
- おもてなし広場の運営にあたっては、出展者等との協力により、廃棄物の減量化に取り組むとともに、飲食物の提供において環境に配慮した容器を使用するなど、環境に優しい運営に努めます。
- 地域の観光ガイドや地元の大学生などのボランティアにも参加いただき、鳥取県らしい運営を行います。
- 特に県外招待者については、おもてなし広場への滞在時間が十分確保できるよう、輸送計画などを工夫して対応します。

区分	施設名	内容
式典会場 (おもてなし広場)	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	歌や踊り、郷土芸能等の披露
	湯茶接待所(お招き茶屋)	参加者に湯茶、ミネラルウォーター、お菓子等を提供
	販売コーナー	鳥取県の特産品や飲食物等を販売
	展示コーナー	鳥取県の森林、林業、観光等について展示紹介
	臨時郵便局	記念切手の販売と郵便、宅配サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護
	休憩テント	休憩用のテントを設置
植樹会場	案内所・簡易救護所	参加者に対する各種案内・情報提供・応急処置

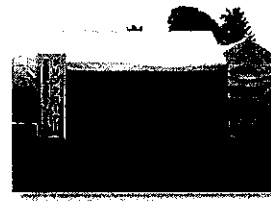
〔おもてなし広場施設例〕



販売コーナー



総合案内所



ドリンクコーナー

### (2) 会場外でのおもてなし

- 米子駅前だんだん広場でのおもてなしブースなど、県外招待者や一般の方も楽しめる場を設けます。
- 米子鬼太郎空港に案内所を設置し、大会概要案内、宿泊・観光情報などの提供を行います。

## 8 昼食計画

### (1) 昼食会での会食

○中央特別招待者の一部は、式典会場外に別途設ける会場において催される昼食会に参加していただきます。

### (2) 弁当による昼食

○弁当の内容等

・鳥取県産食材を盛り込み鳥取らしさを実感できる内容にし、「食のみやこ鳥取県」を広くPRします。

【弁当の愛称】 「食のみやこ鳥取県 森のめぐみ弁当」

【主な内容】 ・鳥取県西部の郷土料理「いただき」

・「蟹ちらし寿司」

・「大山鶏の照り焼き」など

運営上の参加者区分	天候良好時の 弁当配布・喫食場所	悪天候時の 弁当配布・喫食場所	弁当配布時刻
中央特別招待者 (昼食会参加者を除く)	式典エリア (中央特別招待者席)	ハイヤー等車内	エピローグ終了後 (12:20～)
特別招待者	式典エリア (特別招待者席)	計画輸送バス車内	エピローグ終了後 (12:20～)
一般招待者	式典エリア (一般招待者席)	計画輸送バス車内	エピローグ終了後 (12:20～)
出演者等	出演者控えテント等	出演者控えエリア等	随時
実施本部員	本部等エリア等	本部等エリア等	随時
協力員	スタッフ控エリア等	スタッフ控エリア等	随時

## 9 医療・衛生計画

### (1) 医療救護所の設置

○式典会場及び植樹会場に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。

○救護所には、医薬品や休憩用ベッド等を備えます。

○消防署や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の輸送・受け入れ体制を整えます。

### (2) 衛生対策

○保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。

○食の安全を期すため、弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供施設などの指導を徹底します。

○飲料等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、式典会場及び周辺環境美化に努めます。

## 10 消防・防災・警備計画

### (1) 消防・防災

- 実施本部の消防防災担当が中心となり、異常の早期発見・通報に努めます。
- 会場内は、喫煙所以外はすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- 情報の伝達は、混乱を生じさせないよう、参加者に対するルートと実施本部員・協力員等のルートに分けて適切に行い、参加者全員が安全に避難できる体制を整えます。
- 避難については、避難計画を策定し、実施本部員への周知徹底を図るとともに、避難訓練を行い非常時に備えます。

### (2) 警 備

- 会場内での事件事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 当日は、警備員、会場警備担当及び協力員を配置して、警備や車両の整理、招待者の誘導を行います。
- 式典会場入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- 式典会場、植樹会場、駐車場等では、式典使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

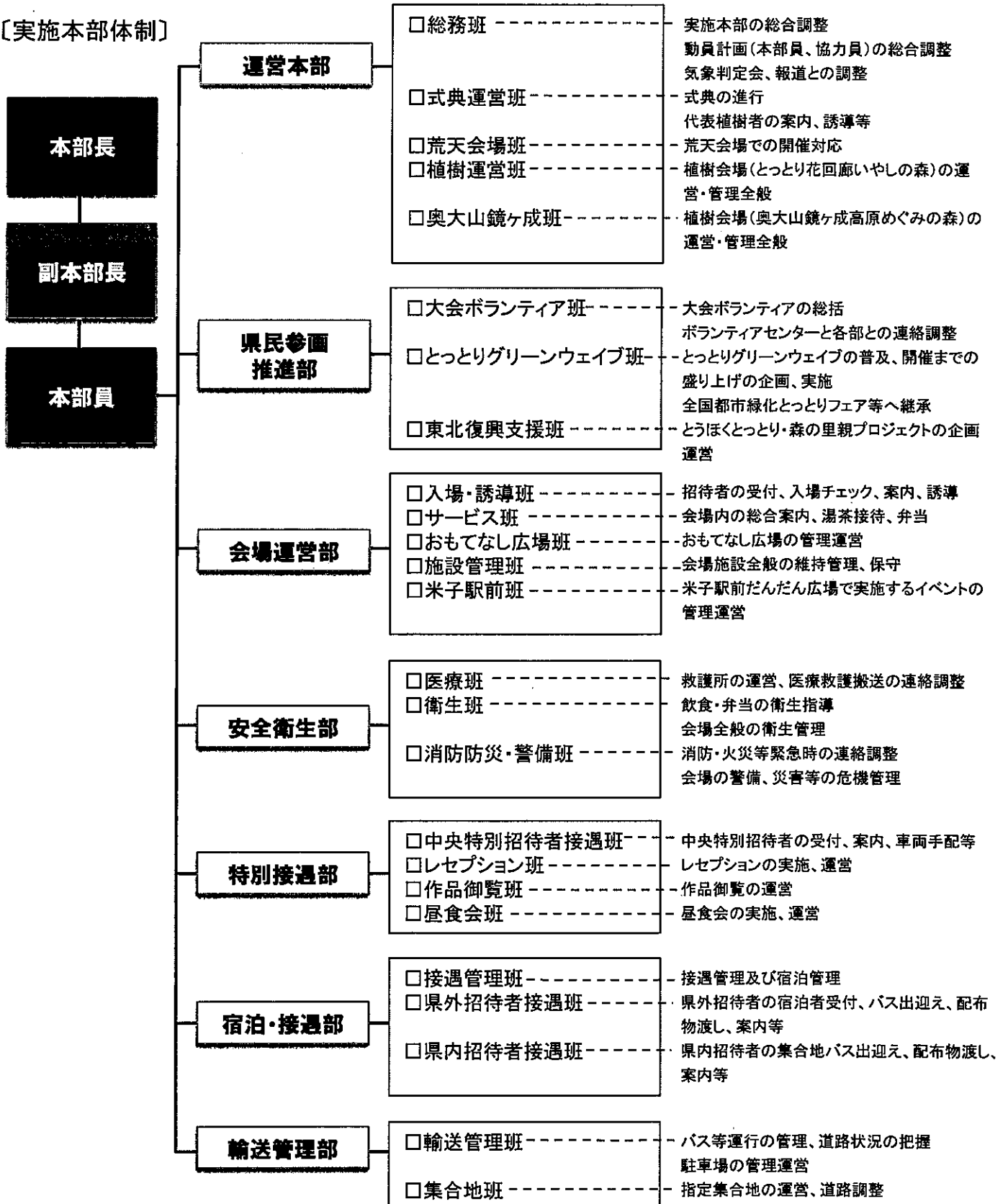
## 11 実施本部計画

○全国植樹祭の円滑な運営を図るための実行組織として、「第64回全国植樹祭鳥取県実施本部」を設置します。

○効率的な要員配置を行うとともに、ボランティア、開催町職員などの積極的な協力を得て、実施運営の円滑化及び参加者の安全性や快適性の確保に努めます。

<主な業務>

[実施本部体制]



## 12 研修・リハーサル計画

○円滑な運営に向けて、実施本部員、協力員の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。

○効果的な研修、リハーサルを実施するため、事前に各班ごとの運営マニュアルを作成します。

○リハーサル計画に基づき、実施本部全員が業務の内容を把握できるようにします。

### (1) 実施本部員等の研修計画

○実施本部員及び協力員への研修は、事前の資料配付、現地研修、リハーサルへの参加等により行います。

○協力員(関係市町村職員、ボランティア、関係団体の構成員等)の研修は、リハーサルへの参加により実施します。

### (2) 研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
①出演者説明会	3ヶ月前	各所	出演者代表	式典概要説明会
②合同説明会	開催 6~5週間前	式典会場 植樹会場	本部員 出演者代表	式典全体の説明
③式典 リハーサル	平成25年 4月6日(土)	荒天会場	出演者(介添者) 本部員(関係班のみ)	式典部分リハーサル
④荒天会場 リハーサル			出演者(介添者) 本部員(関係班のみ)	会場確認及び説明
⑤総合 リハーサル	平成25年 4月14日(日) 【予備日】 平成25年 4月21日(日)	式典会場 植樹会場	本部員全員 協力員(一部) 出演者全員	式典全部、通しリハーサル、車両、参加者誘導、接遇研修、非常時訓練他
⑥前日 リハーサル	平成25年 5月25日(土)	式典会場 植樹会場	本部員全員 協力員全員 出演者全員	式典全部、通しリハーサル、車両、参加者誘導、非常時訓練他



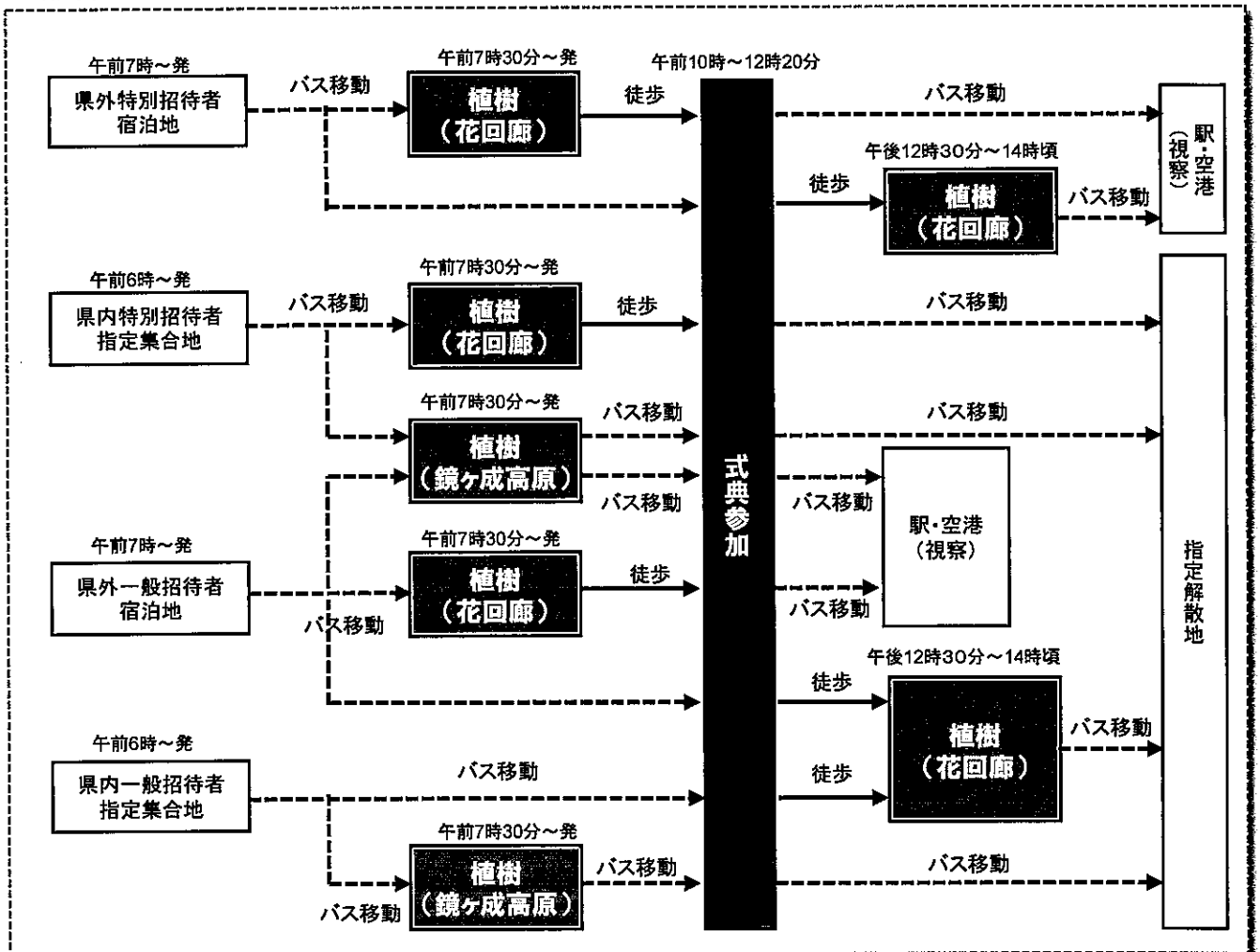
### 13 雨天時・強風時対応計画

- 雨天時対応マニュアルを作成し、雨天時や強風時にも円滑な運営ができるようにします。
- 晴天時の計画と同じ内容で行うことを基本に、必要な配慮・準備を行います。ただし、雨や風の程度に対応した変更プログラムを作成します。
- プロローグやエピローグは天候に応じ、各出演団体と協議の上、変更内容を決定します。
- 式典音楽隊の音楽が不可能な場合は、事前に演奏を収録した音源を使用します。
- 会場警備上、傘の持ち込みができないため、参加者全員にレインコートを事前に配布します。

# 1 基本方針

- 式典前夜、宿泊参加者(主に県外招待者)は、原則として実行委員会が指定する、植樹会場又はその近隣の地域の施設に宿泊します。地域の方々には、食材や自然・文化・歴史などとのふれあいが図られるよう、おもてなし体制を整えていただきます。
- 宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、式典終了後の視察ルート等を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- 式典当日、宿泊参加者は各宿泊施設から、当日参加者(主に県内招待者)は最寄りの集合地から、実行委員会が手配するバス等により会場へ移動します。
- 参加者等の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び交通規制などについては、関係者で綿密な検討を行い、添乗員の配置・案内等により快適な輸送体制を整えます。
- 会場の周辺及びアクセス道路沿線の安全を確保し、警備に万全を期します。
- 会場へのアクセス道路沿線では、地元市町村や関係者、地域住民の参加・協力を得て、美化等に努めるとともに、参加者を歓迎します。
- 県外招待者に対して、式典前日又は式典終了後の視察コースを設定し、鳥取県の森林・林業・木材産業や自然・文化・歴史に対する理解を深めていただき、観光振興も図られるよう取り組みます。

[植樹祭当日の主な参加者スケジュール]



※時間については、要調整。

## 2 宿泊計画

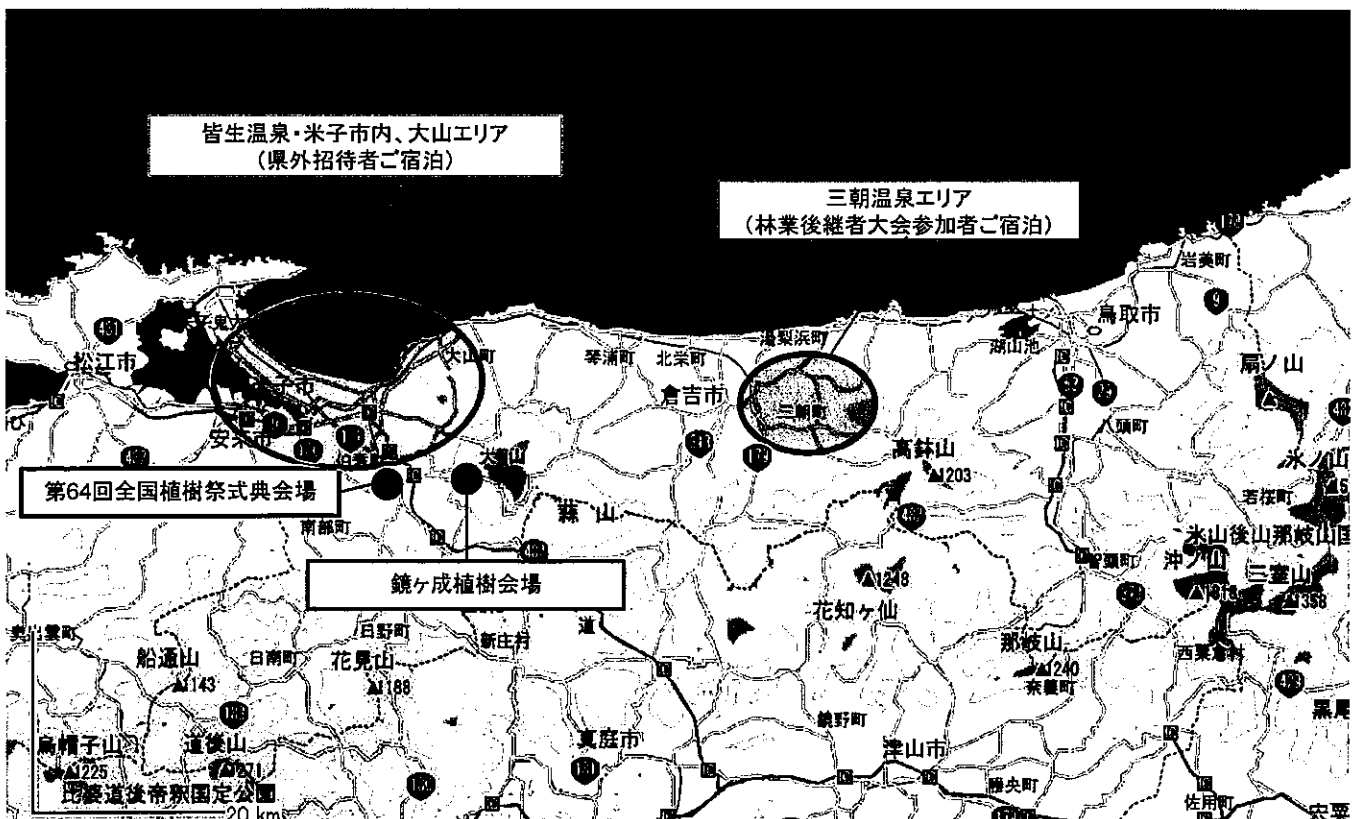
招待者の宿泊施設は、交通の利便性や快適性等を考慮して、実行委員会が指定します。

### (1) 宿泊施設の選定

- 県外招待者の方には、鳥取の食材や自然・文化・歴史等とのふれあいが図られるよう「おもてなしの心」を持つ宿泊施設にご宿泊いただきます。
- 開催行事会場やスケジュール、道路状況やアクセス等を総合的に鑑みた宿泊エリア・宿泊施設を選定します。
- フロントやロビー等宿泊施設内に専用ブースを設置し、招待者にお渡しする配布資料(植樹祭関連各種案内資料、行動計画表、識別用品等)を円滑かつ確実にお渡しできる体制を整備します。
- 館内はもとより、安全に計画輸送バスへ乗降できる場所が確保できる宿泊施設を選定します。
- 消防法や食品安全衛生法等法令に基づく基準を満たすことは勿論、夜間緊急時等搬送できる救急病院や緊急対応担当者の有無を把握するほか、宿泊施設にはAED(自動体外式除細動器)を設置します。
- 火災や地震など災害発生時の宿泊施設側の体制を整えるほか、宿泊施設に対して研修訓練の徹底を促し、万が一の災害、事故に備えます。

### (2) 宿泊候補地

- 関連行事である「第42回全国林業後継者大会」は、三朝町で開催されることから、この大会の参加者であり全国植樹祭の招待者は、原則「三朝温泉エリア」に宿泊いただきます。
- 上記以外の式典参加者は、原則「皆生温泉・米子市内、大山エリア」に宿泊いただきます。



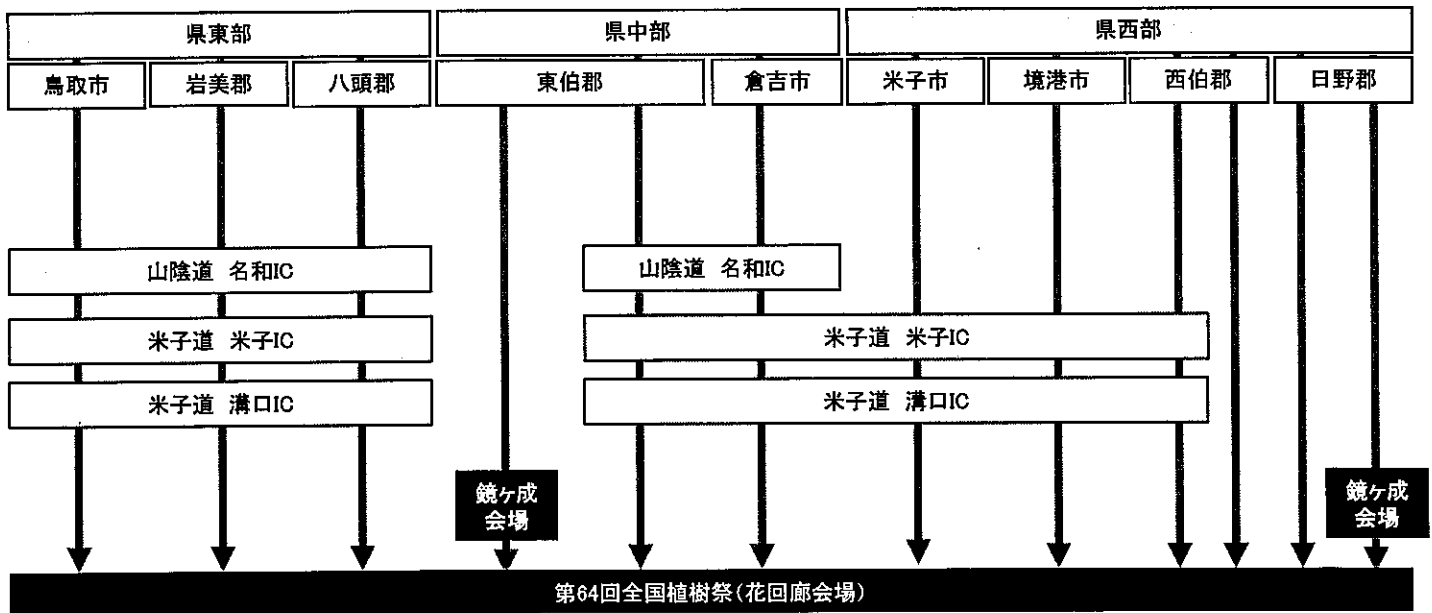
### 3 輸送計画

#### (1) 参加者ごとの輸送方針

- 式典当日の道路混雑状況等のリスクを想定し、極力移動時間がかからない最短ルートを設定します。
- 交通事故や渋滞等の不測の事態に備え、万が一の場合の代替ルートや迂回ルートを設定を行います。
- 参加者等の安全で円滑な輸送を行うため、仮輸送計画(シミュレーション)を策定し、バス事業者、関係機関と協議・検討のうえ、運行ルートを設定します。
- 利用するバス等の車両は、バス事業者等への説明と打合せを十分に行い、法令遵守の確認と安全運行の徹底を図ります。

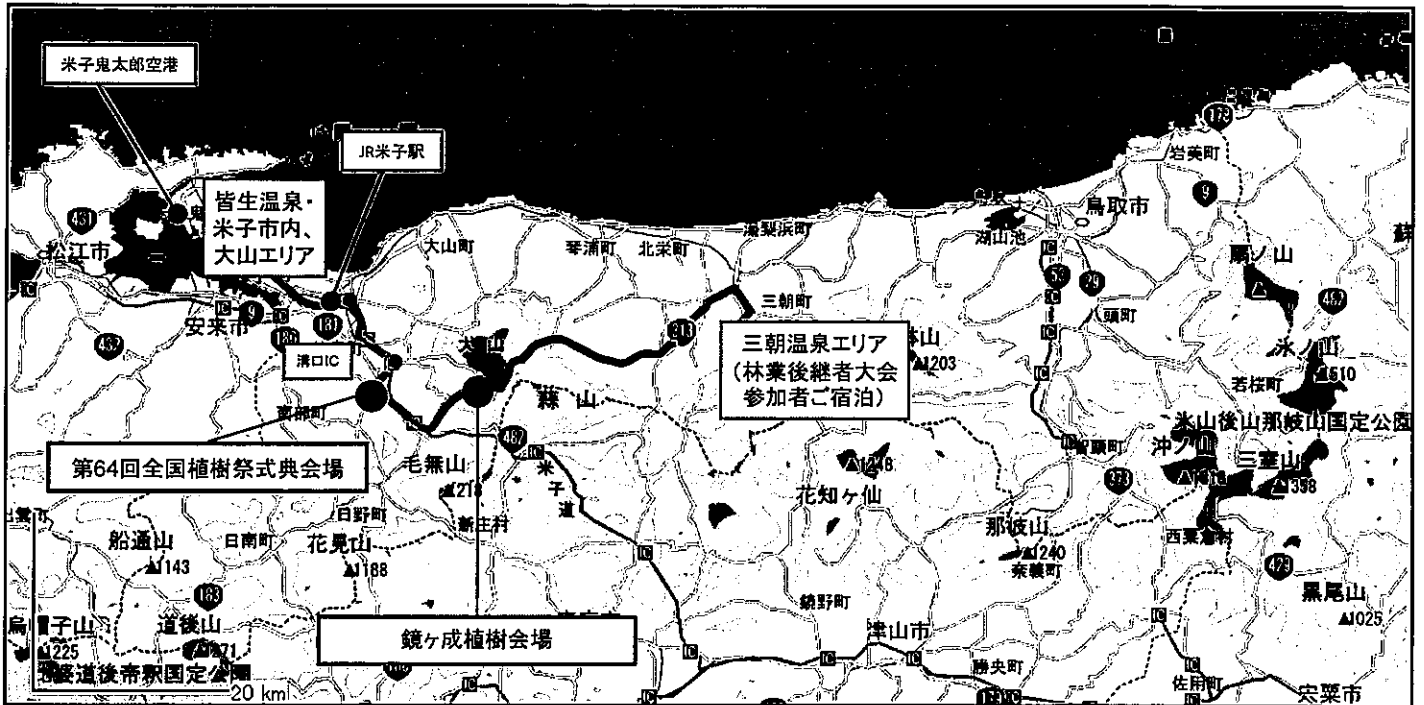
#### (2) 輸送フロー

- 招待者は、各宿泊施設又は予め指定された集合地において、主催者の準備した車両を利用し会場に向かいます。

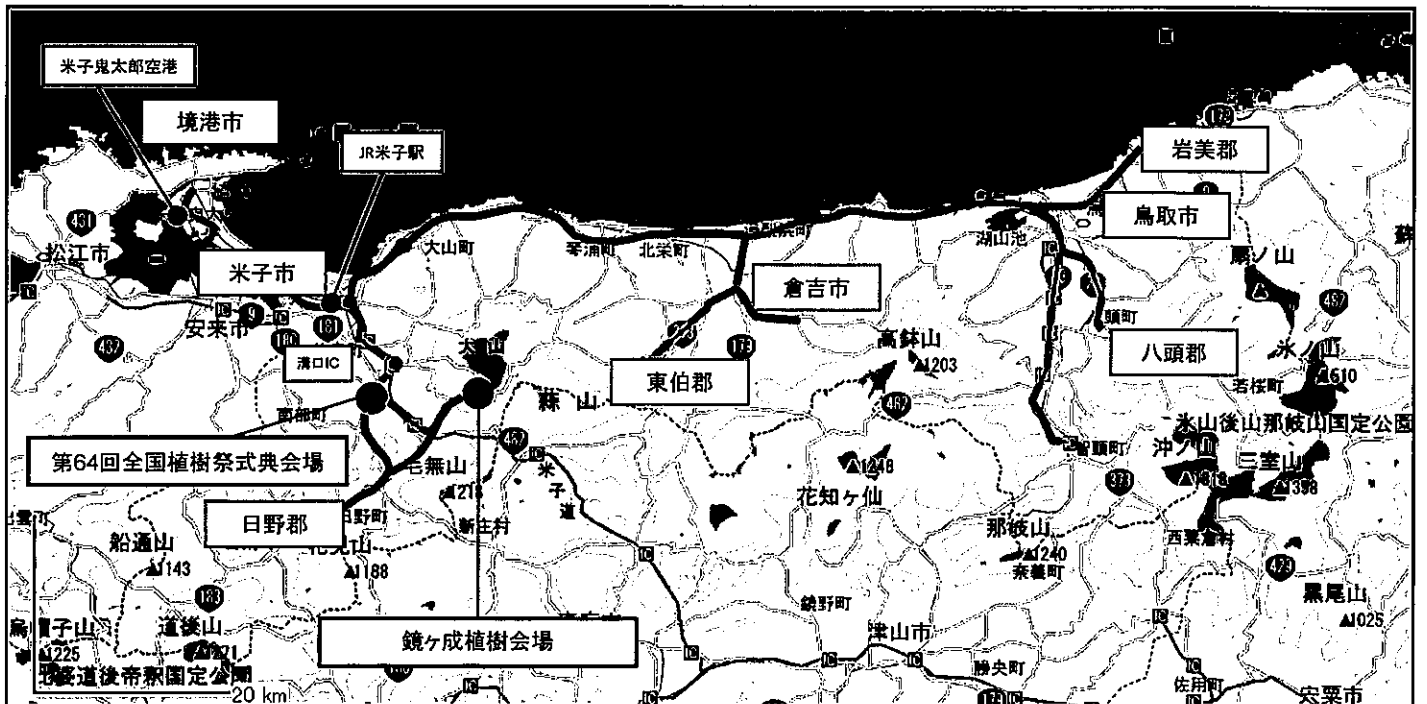


(3) 輸送ルート(往路・復路)

① 県外招待者・県内招待者(宿泊施設に宿泊される招待者)



② 県内招待者(各市町村の指定集合地から参加される招待者)



(4) 駐車場計画

○式典会場及び植樹会場は、中央特別招待者が使用する乗用車の駐車場はとっとり花回廊内に確保し、その他の招待者等が使用するバス等はとっとり花回廊内で駐車場が確保できないため、近傍地に駐車場を確保します。

①乗用車等

区分	駐車場		車両種別	台数	備考
	奥大山鏡ヶ成高原植樹会場	とっとり花回廊			
中央特別招待者	—	とっとり花回廊内駐車場	乗用車	30台	
本部員・協力員等の一部	休暇村奥大山	とっとり花回廊内駐車場	乗用車、トラック等	40台	大会運営・準備の利便性を考慮し、場所を選定する。必要な機材搬入等のための車両も利用する。

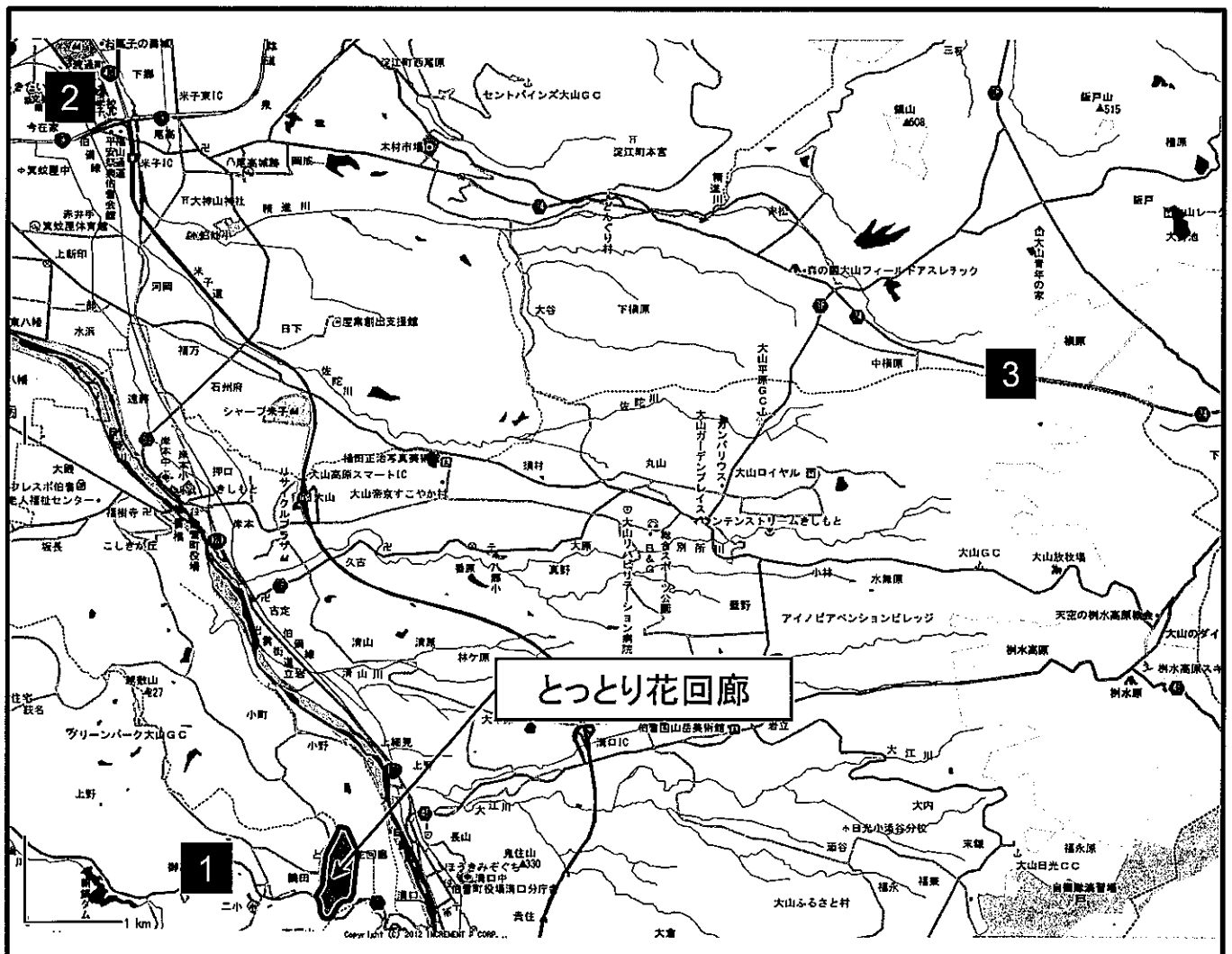
②バス

区分	駐車場		車両種別	台数	備考
	奥大山鏡ヶ成高原植樹会場	とっとり花回廊			
招待者（中央特別招待者を除く）	休暇村奥大山	駐車場候補地一覧を参照	バス	169台	
本部員・協力員・出演者等	休暇村奥大山	駐車場候補地一覧を参照	バス	47台	大会運営・準備の利便性を考慮し、場所を選定する。必要な機材搬入等のための車両も利用する。

【式典中のバス駐車場候補地一覧】

番号	名称	場所	会場からの距離
1	鶴田駐車場	南部町鶴田地内	バスで約3分
2	鳥取県消防学校	米子市流通町1350	バス・高速利用で約20分
3	大山隠岐国立公園 上楨原駐車場	大山町赤松字上楨原568-2	バスで約30分

【式典中のバス駐車場候補地位置図】



## 4 視察計画

### (1) 基本的な考え方

- 鳥取県の森林・林業や木材産業に対する理解を深めるとともに、鳥取県の魅力を十分伝えられるような観光コースを設定します。
- 価格設定やコース設定など、参加者のニーズを捉えた内容で参加率を高めるよう努め、観光振興を図ります。
- 参加された方に、鳥取県が持つ様々な魅力・豊富な恵みを実感していただくことにより、『リピーター』になっていただき、全国で鳥取県をPRしていただけることを目指します。

### (2) 主な視察候補地

エリア	
東部エリア	白兔神社・白兔海岸、仁風閣、智頭町森林セラピー体験、鳥取砂丘、山陰海岸ジオパーク
中部エリア	三徳山三仏寺『投入堂』、倉吉白壁土蔵群、鳥取二十世紀梨記念館、中国庭園『燕趙園』
西部エリア	大山樹水高原、大山寺周辺、植田正治写真美術館、大山ブナ森ウォーキング、境港、水木しげるロード、妻木晩田遺跡、上淀麿寺跡

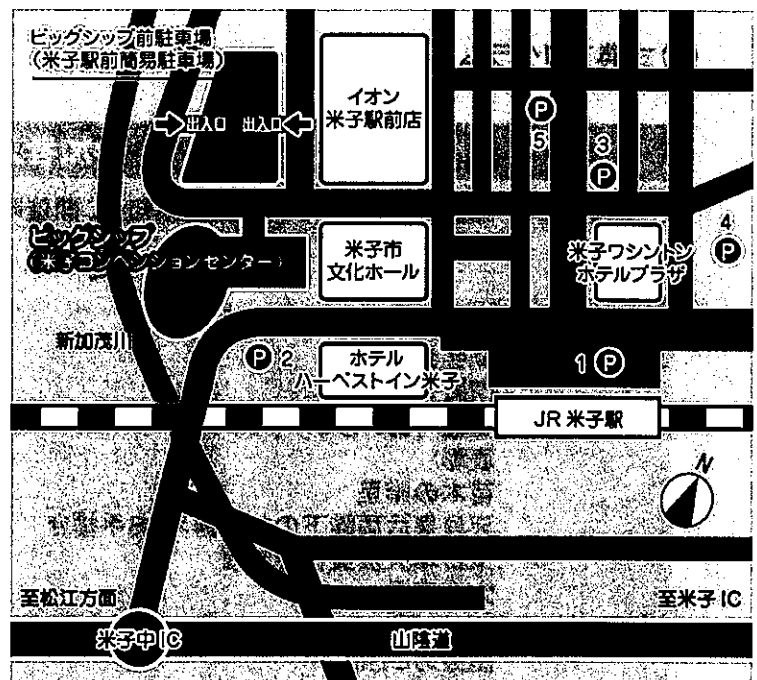


## 1 基本方針

- 暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、晴天会場での式典実施が困難になった場合は、荒天会場  
で式典を実施します。
- 荒天会場での式典の開催決定は、実施期日の1週間前から随時情報収集や関係機関との協議を  
実施し、その判断を行うものとします。
- 荒天会場での実施決定に備え、関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な実施運営を行います。

## 2 会場

- 米子コンベンションセンター  
(鳥取県米子市末広町294)



## 3 参加者一覧

- 荒天時式典の参加者は、県外招待者約380人、県内招待者約320人、実施本部員等約300人、  
計1,000人程度とします。

区分	内訳	人数(人)
中央特別招待者	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催町長等	30人
県外招待者	国会議員、中央省庁、中央団体、受賞者等	350人
県内招待者	県議会議員、実行委員会委員、受賞者等	320人
本部員・協力員	実施本部員、出演者、運営ボランティア等	300人
	計	1,000人

## 4 荒天時運営計画

### (1) 式典計画

○晴天会場の式典次第から「プロローグ」「エピローグ」部分、記念式典のアトラクション及び参加者代表記念植樹を除いた構成とします。

○式典音楽は、事前収録した音源やCD等を使用します。

○式典の時間は、50分程度とします。

### (2) 式典プログラム

参加者入場	
11:00	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催町長等
式 典	
11:10	天皇皇后両陛下御到着 開会のことば 国歌斉唱 主催者あいさつ 表彰 苗木の贈呈 天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き 東日本大震災復興支援 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下御退席
12:00	参加者退場

## 1 基本方針

- 全国植樹祭の開催を契機に「美鳥の大使による美しい国づくり運動」を核とした「とっとりグリーンウェイブ(県民運動)」の広がりを目指します。
- 県民誰もが参加しやすい運動形態とし、地域の活動と連携した取組みを展開します。
- 植樹祭開催後も継続し、広がる運動を目指します。

## 2 運動の進め方

- 現在取り組まれている市町村やNPO、企業等の活動に加え自治会、農林水産関係団体等とも連携・協働し、地域特性や団体の活動分野等を活かしながら全県的な活動を促進します。
- 県が認定する「美しい国づくり運動」に参加した県民を「美鳥の大使」として認定する「美鳥の大使による美しい国づくり運動」を展開します。
- 全国植樹祭への参加や県民運動に参加いただいた「美鳥の大使」が、身近な人に伝え、発信することで県民運動の広がりを促進します。



○森林環境の維持・保全



○環境美化・啓発活動



○海・川・湖沼の環境・水産資源の保全活動

## 1 基本方針

- 第64回全国植樹祭の開催に向けて、県民が大いに盛り上がり、同時に、森林のめぐみや森林整備の必要性等を理解いただくため、記念事業等を実施します。
- 子どもからお年寄りまで幅広く参加できるよう、また、楽しみながら体験できるイベントなどを県内全域で展開します。
- 全国植樹祭の開催を記念し、その成果を将来に伝えていくための事業を実施します。

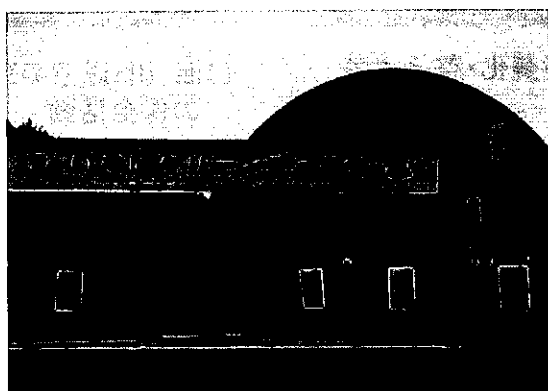
## 2 記念事業等の内容

- 記念事業は、全国植樹祭の開催理念を達成するため、鳥取県実行委員会が主催する事業とします。実施にあたっては、県民誰もが参加できるよう、また、参加者同士がお互いに交流・協力し、知識等の向上をさらに深められるよう配慮します。

- (1) プレ全国植樹祭(1年前リハーサル)
- (2) カウントダウンイベント
- (3) 残日計の設置
- (4) リレー植樹
- (5) ポスト植樹祭(地域植樹会場での植樹祭)
- (6) 記録誌・記録映像の作成、記念切手の発行
- (7) 苗木のスクールステイをはじめとする育苗事業
- (8) どうほくとっとり・森の里親プロジェクト



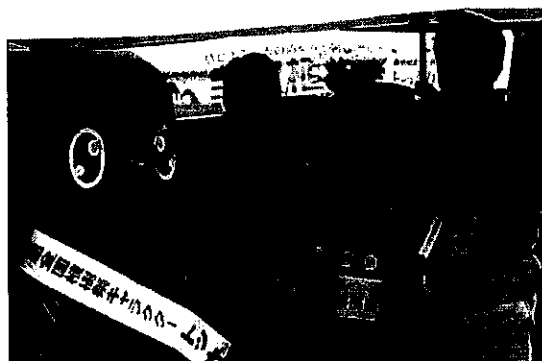
プレ全国植樹祭



カウントダウンイベント



残日計除幕式(米子駅前広場)



リレー植樹



苗木のスクールステイ

### 3 関連事業等の内容

○関連事業は、関連団体が主催する事業のうち、全国植樹祭の開催理念と関連があり、互いに連携すべき事業とします。

#### (1) 第42回全国林業後継者大会

全国の林業後継者が一堂に会し、持続可能な森林づくりの担い手としての役割や林業の楽しさについて意見を交わし、輝ける林業後継者の姿を国民に発信するための大会とします。

〔時期〕 平成25年5月25日(土曜日)

〔場所〕 三朝町総合文化ホール(三朝町大瀬)

〔内容〕 林業者の活動報告、パネルディスカッションなど

#### (2) 「とっとり共生の森」参画企業との連携事業(平成23～24年度実施)

- ・同一日に一斉開催する各社の森林保全活動
- ・県、参画企業で共同開催するイベント
- ・参画企業が植栽苗木の一部を育てて提供
- ・参画企業の協賛をいただいて、著名人を招いた記念シンポジウムの開催 等



「とっとり共生の森」参加者



企業によるナラ枯れ被害の防止活動

# 1 広報計画

○開催理念や事業の展開などについて、お知らせするだけでなく、県民が率先してのおもてなしを盛り上げる内容とします。

○開催までの広報計画を、下記のように大きく3つの期間にゾーニングし、各市町村、関係団体と連携を図りながら、各種広告媒体の特性を生かした情報発信の取り組みを推進します。

①予告期間 ②周知・理解期間 ③拡大・発展期間

(1) インターネットの活用

第64回全国植樹祭の公式ホームページを運営し、各種イベントや各種取り組み状況等を、タイムリーかつ広く、見やすく情報発信します。

(2) マスメディアの活用

テレビ、ラジオ、新聞等により、全国植樹祭、記念行事、県民運動等に関する情報を提供します。

(3) 市町村との連携

市町村の広報誌やイベント等での広報活動と連携を図り、全国植樹祭の周知と県民運動の推進を図ります。



(4) 企業・団体との連携

シンボルマークやロゴマークの使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、全国植樹祭の周知を図ります。

(5) 大会シンボルマーク、ロゴ等の活用

シンボルマークやポスター原画を用いた各種PRグッズを作成し、各種イベント等で積極的に活用して開催機運を盛り上げます。  
また、シンボルマークやロゴの使用を、県民や企業などにも広く呼びかけます。



(6) 植樹祭に関する情報誌の発行

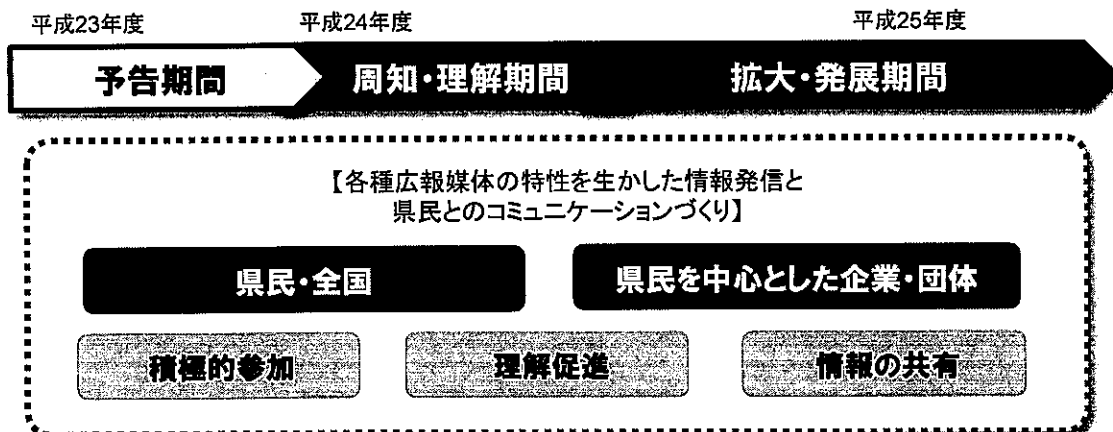
全国植樹祭だよりなど、定期広報誌を発行し、開催準備状況、県民運動、記念事業等に関する情報を定期的に発行します。

(7) PRグッズの作成・配布

第64回全国植樹祭のPRグッズを作成・配布し、開催の周知と気運の盛り上げを図ります。



〔広報の展開イメージ〕



第64回全国植樹祭

## 2 協賛計画

○第64回全国植樹祭を一過性のイベントとして終わらせることなく、これを契機として、県民運動の拡がりを図っていくため、県内の企業や団体、個人に対し、広く支援を求めています。

○協賛社(者)は、全国植樹祭会場や公式ホームページ及び記録誌等で名前が公表され、その協力が讃えられます。

### 第64回全国植樹祭への積極的参加による協賛形態

#### 県民協賛

- ・ボランティア活動
- ・PRイベント等への参加
- ・植樹祭関連商品の購入
- ・個人からの募金

など

#### 事業協賛

- ・企業、団体等の資金提供
- ・物品や技術の提供
- ・企業イベントとのコラボレーション

など

#### メディア協賛

- ・メディアプログラムへの企業の広告協賛  
(新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・交通広告・WEB・プロモーションなど)

など

#### 【協賛の内容】

- 資金    ○物品・技術    ○広告    ○気持ち



それぞれの協賛の集結...

## 第64回全国植樹祭の成功

持続可能な森林づくりによる地球環境の保全や、  
里山林等森と親しみながら共生してゆくライフスタイル、  
就業スタイル等の

「心癒される森林づくり」を推進



**第64回全国植樹祭 実施計画【概要版】**

平成25年2月

**鳥取県農林水産部全国植樹祭課**

〒683-0054 鳥取県米子市糺町一丁目160 西部総合事務所

TEL 0859-31-9364 FAX 0859-31-9368

ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/shokuzyusai/>

または、「第64回全国植樹祭」で検索してください。